




令和 4 年度当初予算(案)・令和 3 年度 3 月補正予算(案) 事業等説明資料

一般会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
特別会計・公営企業会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 32

京都府 宮津市

事業名	関係人口創出・拡大事業 ～市内まるごとワーケーションの推進と拠点の運営～	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化から生じた担い手不足で集落機能維持が困難となっている。 新型コロナ禍を契機に、新しい働き方として関心が高まるテレワークやワーケーション等は、都市部から地方への新たな人の流れになるとともに、働き方の新しいスタイルが定着し、空いた時間を活用した副業・兼業の動きの広がりが見られる。 こうした中、本市ではR3.1に中間支援組織「MIYAZU未来デザインセンター」を設立するとともに、前尾記念クロスワークセンターや民間事業者整備施設などテレワーク等に取り組むことができる環境づくりを進めている。 		15,000	5,150	4,200		5,000	650		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
			2,000	国	地方創生推進交付金				5,150	
目 的 標	<p>「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、市内のワーケーション施設や関係団体と連携し「市内まるごとワーケーション」を推進するとともに、拠点に集まる都市部企業等の人材と地域事業者及び住民が交流できる場を創出することで、様々な化学反応を起こし、共創による地域活性化を図る。</p>		(参考)前々年度決算額	繰入	まちづくり基金繰入金		5,000			
			—							
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
事 業 概 要	<p>■「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」の運営 14,000千円 市内のテレワークやワーケーション施設の「中核拠点」として、ワーケーションの推進・関係人口創出等を実施（指定管理者による運営）</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市内まるごとワーケーションの推進 都市部からのワーケーション誘客、アクティビティのワンストップ化など ◎都市と地域の交流の場の創出 交流イベントの開催、コミュニティの運営、関わりしるの掘り起こしなど ◎副業人材を活用したセミナー等の開催など <p>■ワーケーション施設設備整備の支援 1,000千円 市内の宿泊施設のロビーや客室、飲食店などをテレワークやワーケーション施設（スペース）に整備する事業者を支援（補助率1/2、補助金上限 250千円/件）</p>	 	施策分野	関係人口創出・拡大						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			期待される効果等	<p>関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・ワーケーション等拠点数・利用企業数 R元 -箇所 → R7 5箇所10社 						
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係			45-1607		1	



事業名	移住・定住推進事業 ～地域とともに取り組む移住・定住人口の増加～	充実	予算額	財源内訳																																						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																																		
背景・経緯	H23.9:みやづUIターンサポートセンターを設置 H27.4:京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置 H29.8:宮津市空家空地対策協議会を設置 ※移住促進特別区域の指定 (H29)養老・上宮津・世屋地区、(R2)府中地区 R4.4:京都府の新移住条例により、移住促進特別区域の指定が市街地に拡大		28,247	3,704	10,250			14,293																																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																																						
目的・目標	移住希望者の受入体制を強化するとともに、新たな京都府の移住に関する条例が施行されるに伴い市内全域の移住特別促進区域の指定を目指し、地域と一体となった移住・定住支援を推進する。 また、第2期空家空地対策計画(案)に掲げる「地域とともに空家空地を活かす」を基本方針に、地域や関係機関が連携し、総合的な空家等対策を推進する。		19,433	国	地方創生推進交付金			3,704																																		
			(参考)前々年度決算額	府	移住促進事業費補助金			7,700																																		
事業概要	<p>■移住者の受入取組の充実・強化 5,720千円 みやづUIターンサポートセンターの相談体制を強化するとともに、地域・関係機関が一体となった受入取組を推進する。 ・移住相談員(会計年度任用職員)を2名体制に充実(1名増員) ・住まいの終活・空家相談会等の開催、空家所有者への空き家バンク登録奨励、移住者向けパンフレットの作成、移住交流会、空家活用ワークショップの開催等の各種取組を推進。また、地域が取り組む移住受入体制の整備を支援。</p> <p>■定住支援空き家等改修補助 20,000千円 市内への定住を目的に購入又は賃借した空家等の改修又は家財撤去を支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移住特区 (府1/2・市1/2)</th> <th colspan="2">移住特区外 (市制度)</th> <th>多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)</th> <th>多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)</th> </tr> <tr> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> <th colspan="2">空家改修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">10/10</td> <td colspan="2">1/2</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,800千円 (上限)</td> <td>100千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>50千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>2,000千円 (上限)</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>8件 14,400千円</td> <td>5件 500千円</td> <td>3件 3,000千円</td> <td>2件 100千円</td> <td colspan="2">2,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■地域が取り組むお試し住宅整備の支援(上宮津地区) 1,800千円 地域の空家を活用・改修し、地域が運用する移住体験等お試し住宅の整備を支援</p> <p>■空家空地対策協議会の運営等 238千円 行政・地域・事業者等の連携、管理不全状態の空家等の所有者等への情報提供等</p> <p>■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 389千円 北部7市町が連携し、Webサイトの情報発信や地域人材間の連携等を実施</p>	区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)	多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)	空家改修	家財撤去	空家改修	家財撤去	空家改修		補助率	10/10		1/2		1/2		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	1,000千円 (上限)	2,000千円 (上限)	予算額	8件 14,400千円	5件 500千円	3件 3,000千円	2件 100千円	2,000千円		総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト	12,920	府	子育て支援総合支援事業費補助金			1,000
			区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)	多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)																																	
空家改修	家財撤去	空家改修		家財撤去	空家改修																																					
補助率	10/10		1/2		1/2																																					
補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	1,000千円 (上限)	2,000千円 (上限)																																				
予算額	8件 14,400千円	5件 500千円	3件 3,000千円	2件 100千円	2,000千円																																					
府	きょうと地域連携交付金			1,550																																						
事業概要	<p>■移住者の受入取組の充実・強化 5,720千円 みやづUIターンサポートセンターの相談体制を強化するとともに、地域・関係機関が一体となった受入取組を推進する。 ・移住相談員(会計年度任用職員)を2名体制に充実(1名増員) ・住まいの終活・空家相談会等の開催、空家所有者への空き家バンク登録奨励、移住者向けパンフレットの作成、移住交流会、空家活用ワークショップの開催等の各種取組を推進。また、地域が取り組む移住受入体制の整備を支援。</p> <p>■定住支援空き家等改修補助 20,000千円 市内への定住を目的に購入又は賃借した空家等の改修又は家財撤去を支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移住特区 (府1/2・市1/2)</th> <th colspan="2">移住特区外 (市制度)</th> <th>多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)</th> <th>多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)</th> </tr> <tr> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> <th colspan="2">空家改修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">10/10</td> <td colspan="2">1/2</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,800千円 (上限)</td> <td>100千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>50千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>2,000千円 (上限)</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>8件 14,400千円</td> <td>5件 500千円</td> <td>3件 3,000千円</td> <td>2件 100千円</td> <td colspan="2">2,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■地域が取り組むお試し住宅整備の支援(上宮津地区) 1,800千円 地域の空家を活用・改修し、地域が運用する移住体験等お試し住宅の整備を支援</p> <p>■空家空地対策協議会の運営等 238千円 行政・地域・事業者等の連携、管理不全状態の空家等の所有者等への情報提供等</p> <p>■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 389千円 北部7市町が連携し、Webサイトの情報発信や地域人材間の連携等を実施</p>	区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)	多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)	空家改修	家財撤去	空家改修	家財撤去	空家改修		補助率	10/10		1/2		1/2		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	1,000千円 (上限)	2,000千円 (上限)	予算額	8件 14,400千円	5件 500千円	3件 3,000千円	2件 100千円	2,000千円		テーマ別戦略 住みたい、住み続けたいまちづくり	施策分野 移住・定住促進	【宮津市総合計画以外の計画】	H28 宮津市空家空地対策計画 H29～R3 R3 " (第2期) R4～R13	期待される効果等 ・都市部への情報発信強化による定住世帯の確保 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空家等の掘り起こしと確保 ・京都府指定の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組		
			区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		多子世帯(府内) (府1/2・市1/2)	多子世帯(府外) (府1/2・市1/2)																																	
空家改修	家財撤去	空家改修		家財撤去	空家改修																																					
補助率	10/10		1/2		1/2																																					
補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	1,000千円 (上限)	2,000千円 (上限)																																				
予算額	8件 14,400千円	5件 500千円	3件 3,000千円	2件 100千円	2,000千円																																					
担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係	45-1607	5	17 パートナリシップで 目標を達成しよう 																																						

令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	にっこりあを核とする子育ての輪づくり(地域子育て支援事業)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 緯	<ul style="list-style-type: none"> R2.4:「にっこりあ」において乳児向け事業「赤ちゃん広場」の開始、ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所に活用 R2.10~:府子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金の採択を受け、子育て親子向けの講座等を開催、宮津市すくすく子育てLINE運用開始 R3.7~:子育てをテーマにした意見交換会(ワークショップ)の開催(内閣府「少子化対策地域評価ツール」を活用した少子化対策検討の実証) 		18,113	8,638	4,486	150	4,839		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 標	子どもを育てることに楽しさを感じられる環境づくりや地域ぐるみでの子育て支援をより積極的に推進するため、子育て支援センター「にっこりあ」を中心として、保護者同士の交流を促進し、地域の子育て支援の核となる人材の育成につなげる。子育てに関する情報を多様な方法で、きめ細かく発信するとともに、民間企業や事業所における子育て支援の機運醸成を図る。		18,676	国	地方創生推進交付金		500		
			(参考)前々年度決算額	国	子ども・子育て支援交付金		8,138		
			15,321	府	子ども・子育て支援交付金		4,336		
事 業 要	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て親子の輪づくり事業 1,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ○「親子で楽しむ遊びと学びラボ」の開催 150千円 子育て支援に取り組む団体等との連携により、市内の地域資源や人材を活かした親子で参加できる催しを開催する。 [事業の例]食育、農業体験、音楽、美術・工芸、海川山での自然体験、乳幼児親子のふれあい他 ○SNS等を活用した情報発信 450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市すくすく子育てLINE、にっこりあfacebookの配信 ・パパママライターによる情報発信 ○企業や事業所ぐるみでの子育て応援の推進 350千円 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援事業所の認定・PR、事業所への子育て用品購入補助 ○男性の家事・育児参加促進に向けた講座の開催 50千円 ■子育て支援センター「にっこりあ」の運営 16,577千円 ■子ども食堂運営支援 300千円(新規) <ul style="list-style-type: none"> ○子ども食堂を運営する団体に対し支援を実施 ■ファミリー・サポート・センター事業、年長児交流事業 236千円 ■新たに子育てを始める方、UIターン者への子育て情報発信強化 <ul style="list-style-type: none"> ○子育て応援情報誌「みやづすくすく応援ガイド」のリニューアル(市経費負担なし) 		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
			施策分野	子育て支援					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R元策定	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画				R2~R6	
			期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・地域ぐるみでの子育て支援の推進 ・地域の子育て支援の核となる人材の育成 ・企業や事業所による子育て支援の機運醸成 ・男性の家事や育児参加の促進による子育てと仕事の両立支援 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・子育てサークル・子育て支援団体等の登録団体数 R元:0件→R7:5件					
			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係		45-1621		6	

事業名	教育・保育サービスの向上に向けて (子ども・子育て支援推進事業、民間保育園運営事業、認定こども園運営事業、のびのび放課後児童クラブ事業)	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.4: 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の改定施行 ・R元.4: 保幼小接続の取組(府研究委託「未来を拓く学校づくり推進事業」(R元~R3)) ・R3.4: 福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置 ・R3.11: 国が「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として保育士、放課後児童支援員等への処遇改善を決定 		23,093	11,979	1,332			9,782	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	新しい保育指針等に即して市全体の保育・教育の質を向上するとともに、特色ある保育の実現に向け、保育サービスの拡充や適正化等について調査研究を行う。 また、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で働く方の処遇改善のため、国基準に基づき保育士、放課後児童支援員等の収入の引き上げを行う。		—	国	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業			428	
			(参考)前々年度決算額	国	保育士等処遇改善臨時特例交付金			11,502	
			—	府	子ども・子育て支援交付金			49	
			—	府	きょうと地域連携交付金			1,283	
			府	子ども・子育て支援交付金			49		
		総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■保育・教育の質向上のための研修実施 858千円 全就学前施設の職員を対象に、「保育・教育の『環境』の重要性とその整備」をテーマとした全体研修会(講演会)と施設訪問による現場指導を行う。 ■就学前施設長による保育サービス拡充・適正化に向けた研究会の開催 100千円 利用児童数の減少やニーズの多様化をふまえ、保育サービスの拡充や適正化に向けた施策の方向性を調査研究する。 ■公立保育所のデジタル化推進 155千円 動画等ICTを活用した保育の実施に向けタブレットPCを導入 ■保育士等の処遇改善 11,502千円【3月補正 繰越明許費の設定】 民間運営の保育園、放課後児童クラブ等において、国基準に基づく保育士等の処遇改善を実施した場合に運営法人に対して支援を行う。 ○支援額: R4.2月~9月の賃上げに要する経費に相当する額 民間保育園5,444千円、認定こども園4,430千円、放課後児童クラブ1,628千円 ■障害加配保育士の配置基準拡充 (児童2人に対して1人配置→児童1人に対して1人配置へ) 2,489千円 民間保育園・認定こども園において、重度の障害がある児童を受入れるための加配保育士配置にかかる市補助基準を拡充する。 ■幼児教育・保育サポート事業 ○保育コーディネーターの配置(保育士1名) 7,737千円 就学前施設間の交流や巡回サポート等を行う。 ○子育て短期支援事業(ショートステイ)等 252千円 		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
			施策分野	子育て支援					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2~R6		
			期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・幼児期の学校教育・保育サービスの充実 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通~満足度が高いと回答した割合) H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0%					
				  					
			担当部署	健康福祉部社会福祉課 子育て支援係 教育委員会事務局学校教育課 学校教育係			45-1621	45-1641	10

事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～	継続	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.4: 小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入 ・R3.3: 宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3～R7)策定 宮津市学力向上プラン(R3～R7)策定 宮津市立小中学校において、1人1台ICT端末環境整備が完了 ・R3.9: AIドリル、プログラミング教材等の導入 ・R4.2: 家庭学習用通信機器(貸出用モバイルルーター)整備 		6,625	3,630	1,045		1,876	74		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
			21,982	国	地方創生臨時交付金ほか		3,630			
				府	学びの深化プロジェクト実施校委託金ほか		400			
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金		645			
	—	繰入	教育基金繰入金		900					
		諸	家庭学習用通信費負担金		976					
目 的 ・ 目 標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実」「夢や志、豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
事 業 要 概	<p>■「非認知能力の育成」や「夢・志・豊かな感性を持った人づくり」につなげる「保幼小中高連携」の推進 401千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆小中一貫教育を軸とした保幼小中高連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前施設と小学校との連携・接続の充実 ・「ふるさとみやび学」の高校との連携による充実 ほか ◆主体的・対話的で深い学びの授業づくりの推進 401千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による授業改善や学力定着等の実践研究 (吉津小が府教委「学びの深化プロジェクト」(R3～R4)の研究指定中) ・地域資源を活用した課題解決型学習の実践的研究 (府中小が府教委「絆の作り手育成プログラム」(R3～R5)の研究指定中) <p>■質の高い学力の充実・向上につなげる「学力向上対策」の推進 2,594千円 (『宮津市学力向上プラン』(R3～R7)に基づく取組の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆論理的思考力や表現力の育成 1,245千円 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本漢字能力検定」の活用(小4、小6での全員受検に係る検定料全額補助) ・「英語検定」の活用(中1、中3での全員受検に係る検定料全額補助) ◆ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適化された学びの実現 1,349千円 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの家庭学習の開始(AIドリルの活用や動画視聴など) ・ネット環境のない家庭等へのモバイルルーターの貸出(通信費用は保護者負担) <p>■算数学び定着サポーター兼ICT支援員の配置等 3,630千円【3月補正 繰越明許費の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習状況や課題に応じた個別支援等 		施策分野	学校教育						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6			
			R2	宮津市教育大綱・教育基本振興計画			R3～R7			
			R2	宮津市学力向上プラン			R3～R7			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化 ・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適化された学びの実現) <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R元:小6 62.0、中3 62.0 →R7:全国平均・京都府平均以上 						
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			45-1641		13	



事業名	農山漁村コミュニティ活性化事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの地域課題に直面 ・地域の話し合いに基づく地域農業の将来指針「人・農地プラン」の策定を開始 (H29には農地利用最適化推進委員が配置され、プラン策定を推進) ・R3から集落支援員を配置し、「人・農地プラン」の策定を後押し		2,676		400			2,276
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	農山漁村が抱える課題を解決するため、地域農業を支える担い手等への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消を目指す「人・農地プラン」の策定・実施を進める。		4,000	府	農業振興事業費補助金		400	
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	■集落支援員の配置による地域の課題解決に向けた取組 2,526千円 ○人・農地プラン策定及び既存プラン見直し・実施フォロー ※人・農地プランの策定状況 R3末見込 21プラン (44/75集落) ■新たな担い手受入体制構築への支援 150千円 ○新たな担い手(新規就農者)の受入に向け、地域が受入体制構築のために行う取組を支援 ◆取組例 ・農村の紹介書(集落概要、小作料、共同利用機械の有無、利用可能な農地など、新規就農者を受け入れるための情報を取りまとめたもの)の作成 ・就農者の相談に乗る世話人の配置 など ◆補助率 定額(1地域当たり上限50千円) ■半農半×インターンシップの実施 1,500千円【再掲】 ○新たな担い手の受入体制を構築する地域で農業体験プログラムを実施し、担い手候補の呼び込みを行う取組を試行する。 ・農業実習、地域との交流、移住者との交流など ※「持続可能な観光地域づくり事業」に予算計上		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	農林水産業振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	・担い手への農地の集積・集約化 ・遊休農地の発生防止・解消 ・農村集落の活性化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・耕作放棄地の面積 R元:426ha → R7:426ha ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年 → R7:3人/年				
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係 農業委員会事務局		45-1626 45-1645	16	



令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	天橋立の「国内暫定リスト」入りを目指して(世界遺産登録推進事業) ～天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業の開催～	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H19. 9 世界遺産暫定一覧表候補提案書を文化庁に提出 (京都府・1市2町)		2,914		1,457		1,400	57
	H19.12 天橋立を世界遺産にする会 設立		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
	H26. 3 「宮津天橋立の文化的景観(府中・文珠)」が国重文景に選定 (※H27.1に文珠地区が追加選定)		1,414	府	きょうと地域連携交付金			1,457
	H28.10 「成相寺旧境内」が国史跡に指定		(参考)前々年度決算額	繰入	自然環境保全基金繰入金			1,400
	R4. 3 天橋立の国の名勝指定から100周年 R4.11 天橋立の国の特別名勝指定から70周年		1,152					
目的・目標	令和4年、宮津市の象徴でもある天橋立が国の名勝指定を受けてから100周年(3月8日)、特別名勝指定から70周年(11月22日)を迎えるにあたり各種の周年記念事業を実施し、天橋立の持つ価値や魅力の再認識、保全意識の高揚、天橋立を愛する心の涵養を図り、世界遺産登録に向けての機運醸成につなげる。	総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
		テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事業概要	■天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業 1,500千円 天橋立保全活動の原点となった名勝指定、特別名勝指定を振り返り、次の100年に向けて天橋立の保全意識の高揚、世界遺産登録の機運醸成を図る。 ○記念シンポジウムの開催(11月) ○啓発ビデオ等の上映会(6～8月) ○周年記念事業キャンペーンの展開 R4年度中を「天橋立に触れ楽しむ期間」として位置づけ、既存イベントや市民団体等とも連携の上、各種記念事業を実施 《事業例》 ・4月 天橋立一斉清掃 ・7月 阿蘇海の日、光のアトリエ・砂浜ライトアップ(～9月) ・9月 天橋立ツーデーウォーク、天橋立エコ・スポーツフェスティバル、観光誘客キャンペーン実施(～11月) ・11月 記念シンポジウム、住民向けウォーク、成相寺ライトアップ ■天橋立世界遺産登録に向けた機運醸成・普及啓発活動 1,414千円 「天橋立を世界遺産にする会」の活動を支援し、講演会や周知啓発等を行うほか、記念シンポジウムに合わせた住民向けウォークイベント等を開催	施策分野	文化財保存・活用					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R2策定	宮津市教育大綱・教育振興計画				R3～R7	
		期待される効果等	①天橋立の新たな価値の発見や魅力の掘り下げ ②天橋立の価値の再評価と再認識 ③天橋立の魅力の広域的な情報発信 ④市民の天橋立に対する誇りと愛着心の涵養 ⑤天橋立を未来に伝える仕組みの構築 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・世界遺産暫定リスト入り R元:— → R7:リスト入り					
		担当部署	教育委員会社会教育課 社会教育係		45-1642	19		




事業名	地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けて (持続可能な観光地域づくり事業、副業・兼業プロ人材活用事業)	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	R3.11 観光庁「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化」 事業の予算化(国の経済対策) ※審査・事業採択(R4.5月予定)、事業着手(R4.6月予定) R4.3 「宮津市観光戦略」の策定(予定)		9,743	9,743				0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目 的 ・ 目 標	観光戦略に基づき、地域一体となった観光サービスの高付加価値化を進めブランド化を図るとともに、市全域の観光地再生に資する事業を強力に推進し、世界から選ばれる観光地の実現に向けた取組みを進めるもの。		—	国	地方創生臨時交付金			9,743
			(参考)前々年度決算額					
事 業 要 概	<p>■観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けた取組 9,743千円 【3月補正 繰越明許費の設定】</p> <p>○観光戦略推進人材の配置・活用 観光戦略に基づく観光地の再生・高付加価値化を進めるため、「観光戦略推進人材」(外部人材)を配置</p> <p>【観光戦略推進人材の配置・活用による取組内容】 (1)観光地の再生・高付加価値化に向けた中長期的なプランの策定 観光戦略に基づき、地域一体となった面的な観光地再生・観光サービスの高付加価値化を進めるため、中長期的プラン(地域計画)を策定し、観光庁の補助事業の活用を目指す。 【地域計画に基づく事業支援の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆宿泊施設の高付加価値化(補助上限1億円(補助率1/2等)) ◆観光施設の改修(補助上限500万円(補助率1/2補助)) ◆公的施設への観光目的での改修(補助上限2,000万円(補助率1/2)) <p>※補助対象経費には、解体撤去も含まれる</p>		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	観光振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	<p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・観光消費額 R1:109億円⇒R7:125億円 ・観光宿泊客数 R1:64.9万人⇒R7:80.0万人 				
			担当部署	産業経済部商工観光課観光係 企画財政部企画課定住・地域振興係			45-1625	21



令和4年3月定例会

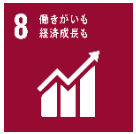

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	歴史文化を活かした観光誘客推進事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H19.12:「天橋立を世界遺産にする会」設立 H29.4:丹後ちりめん構成文化財が日本遺産認定 H30.5:北前船構成文化財が日本遺産認定 R元.5:西国三十三所札所(成相寺)が日本遺産認定		7,700	3,850			3,800	50
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	本市が有する豊富な歴史文化資源を活かした観光誘客を推進するとともに、交流拠点の整備による文化交流を振興し、地域経済の活性化に資する観光まちづくりを進めるもの。		8,900	国 繰入	地方創生推進交付金 まちづくり基金		3,850 3,800	
			(参考)前々年度決算額	—				
事業概要	<p>■歴史文化を活かした観光誘客推進事業 7,700千円 歴史文化を活かした観光まちづくりの実現に向け、文化財等の歴史文化資源を観光活用するための仕組みづくりを進める。</p> <p>○最先端技術を活用した歴史文化資源の発信 4,400千円 伝統芸能や歴史文化資源等を多言語で紹介する高画質映像(4K動画)やVR映像を制作し、国内外へ情報発信及び観光誘客を推進するとともに、歴史資源の保存・伝承等に活用する。 《制作予定の映像》 ・社寺、文化財等の高画質映像(4K動画) ・伝統芸能、祭等のVR映像</p> <p>○歴史文化を活用した観光プログラムの開発・プロモーション 600千円 歴史文化資源を活用した観光プログラムを開発するとともに、モニターツアーの開催やウェブサイトの構築によるプロモーションの実施により、観光誘客を推進する。</p> <p>○文化財等の観光コンテンツ化による賑わいづくり 2,700千円 (1)重要文化財「旧三上家住宅」を市民や観光客の交流拠点として整備し、市民文化活動の活性化や観光コンテンツ化を図る。 ・プロモーションコンテンツ(映像等)作成 ・建物、庭園のライトアップ ・文化観光コンテンツ開発</p>		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			政策分野	観光振興、文化財保存・活用				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	<p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 旧三上家住宅観光客数 R1:3,963人⇒R7:6,000人 				
			担当部署	産業経済部商工観光課 観光係 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1625 45-1642	22	

事業名	持続可能な観光地域づくり事業	継続	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	(日本政府の取組) H28.5:SDGs推進本部設置(本部長 総理大臣)、SDGs実施指針策定(12月) H30.6:「持続可能な観光推進本部」を設置(観光庁) R2.6:「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」策定(観光庁) R3.5:「宮津市観光戦略」の策定に向けた地域観光経済循環分析事業の実施 R4.3:「宮津市観光戦略」の策定(予定)		30,850	13,075		17,500	275		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			30,720	国	地方創生推進交付金	6,975	国	地方創生臨時交付金	6,100
目的・目標	観光戦略に基づき、「満足度の向上」「観光消費額の拡大」に向けた観光地域づくりを進めるとともに、広域自治体連携による持続可能な観光モデル市町村の形成を図り、世界から選ばれる観光地を目指す。		(参考)前々年度決算額	繰入	まちづくり基金	17,500			
			—						
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
事業概要	■持続可能な観光地域づくり事業 12,000千円 ○地域プログラム 10,000千円 持続可能な観光地域づくりに向け、府中地区(継続)、上宮津地区(継続)、由良地区(新規)において、下記の取組を行う。 ・エリア計画の策定、人材育成(リーダー)のための研修 ・新たな観光ルートの構築、観光コンテンツ等の企画、立案、商品化 ・半農半Xインターンシップ(農業体験プログラム)の実施 ○共通プログラム 2,000千円 広域自治体(岩手県釜石市ほか)で構成する日本「持続可能な観光」地域協議会に参画し、世界から選ばれる観光地の実現に向けた人材育成や共通課題に取り組む。 ■天橋立周辺渋滞対策及び水上オートバイ対策 2,550千円 交通事業者と連携した渋滞緩和策や天橋立海面利用安全対策協議会への支援 ■地域おこし協力隊の配置による魅力的な滞在コンテンツの造成 10,200千円 天橋立アクティビティセンターに地域おこし協力隊2名を継続配置し、魅力的な滞在コンテンツの開発、商品化を進め、高付加価値、高単価の滞在型観光に繋げる。 ■観光戦略に基づくブランディング 6,100千円 【3月補正(繰越明許費の設定)】 観光戦略に基づき、外部人材による指導・助言により観光地の再生・観光サービスの高付加価値化を図る。 ※観光庁「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」補助金の活用により、民間事業者の高付加価値化等の取組を支援		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
			施策分野	観光振興					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
						期待される効果等	【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R1:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・観光消費額 R1:109億円⇒R7:125億円 ・観光宿泊客数 R1:64.9万人⇒R7:80.0万人 		
			担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係 農林水産課 農林水産係	45-1625 45-1626	24			

事業名	魅力ある商いづくり事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・H25.2:学校法人大和学園・宮津市連携協定の締結 ・R2.12:信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄付対象事業として選定		22,606	15,851	420		3,250	3,085
目的・目標	新規起業や事業継承などの創業等の取組みや、市内事業者の新たな技術導入や事業継続等について、関係機関と連携を図りながら支援することで、地域経済の活性化を進める。		18,850	国	地方創生推進交付金			5,851
事業概要	■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業【継続(R3~5)】 6,500千円 ①未来天橋塾の開催 1,500千円 次代を担う若手人材を育成するセミナー、ワークショップを開催 ②チャレンジおうえん補助金 5,000千円 新たなものづくりや創業、第二創業等にチャレンジする取組みを支援 ・補助率1/2 上限250万円		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
	■創業等支援事業補助金【継続】 5,000千円 創業、第二創業等を行う者に対し、準備経費(施設等整備費、広告費等)を支援 ・補助率1/2 上限50万円(空き家等を活用した創業等の場合は上限150万円)		(参考)前々年度決算額	府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金			420
	■大和学園との連携事業【継続】 840千円 既存商品の改良や新規商品の開発指導、アドバイスを大和学園講師が実施			繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金			3,250
	■京都府北部地域連携都市圏推進協議会事業等 266千円 京都府北部7市町で行う事業※に係る協議会への負担金203千円ほか ※農商ビズ'ネ商談会(Food Collabo Labo)、海の京都ワライ商談会、副業・兼業人材マッチング事業		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
	■コロナ禍から脱却するための事業者の新たな取組み支援 10,000千円【3月補正】 コロナ禍の厳しい経営環境への対応(売上減少要件なし)に対する支援 ①事業者成長支援補助金 6,000千円 販路開拓・調査研究支援 ①新たな販路開拓のための商談会出席等②事業者固有の課題解決のための副業人材の活用③複数事業者で連携した新商品・サービス開発のための研究費 デジタル化支援 ④コロナ禍対応のための非接触・キャッシュレスシステムの導入⑤公衆Wifiの導入 ⑥ECサイトの立上げ ※パソコン、タブレット購入経費は除く ・補助率1/2 上限15万円		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
	②新型コロナウイルス対応事業再構築補助金 4,000千円 第二創業等(新分野展開、業態転換等)に取り組む意欲のある事業者を支援 ・補助率1/2 上限50万円(空き家等を活用した場合は上限150万円)		施策分野	商工業振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	・創業、第二創業等に新たな取組みを行う事業者の推進による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大 ・地元製品のブランド化、高付加価値化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・創業・第二創業件数 50件/5年 ・製造品出荷額等 R1:95.5億円→R6:100億円 ・小売業販売額 H28:185.4億円→R8:190億円				
		担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		25	

事業名	島崎ウォーターフロントエリア等の再開発に向けて（財産管理事業）	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・R02.9：宮津市公共施設再編方針の策定 ⇒島崎エリアの民間活用による活性化計画のためのサウンディング調査の実施 対象：みやづ歴史の館（建物活用を含む）及び宮津会館、旧図書館、旧労働会館、旧ふれあい交流館を含む市有地 条件：上記の市有財産を活用した地域活性化施設（音楽ホールを含む）の設置 ・R03.1～R03.11：サウンディング調査4回実施 延べ16社と対話 ・R03.12：議会全員協議会へ報告（サウンディング結果と今後の対応） ⇒これまでのサウンディング調査で民間活用について一定の可能性があると把握。		6,000	3,000				3,000
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			4,000	国	地方創生推進交付金			3,000
			(参考)前々年度決算額					
			—					
目的・目標	日本三景天橋立を臨む眺望に優れ、アクセスも良い「島崎ウォーターフロントエリア」をはじめとする市有財産について、民間資本導入による再開発を進め、地域経済の活性化を図る。		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
事業概要	■民間開発事業可能性調査業務 6,000千円 今後の事業化（公募）に必要な島崎エリア等の構想計画策定に向け、事業主体となりうる民間事業者（デベロッパー等）に絞ったヒアリング調査や構想計画立案等を行う。 ○業務内容（委託） ・民間事業者ヒアリング調査（参入意欲、想定事業、課題・条件等の把握） ・ヒアリング調査を踏まえた構想計画立案 ○業務スケジュール（6ヶ月程度） ・5月 調査業務委託の公募 ・6月 委託契約の締結 ・7月～11月 民間事業者ヒアリング調査 ・7月～11月 構想計画立案（ヒアリング調査と並行して作業） ・12月 調査結果まとめ ※調査結果後の予定 ・1月～3月 市民、議会等への意見聴取 ・R5年度 構想計画の策定、関係機関との調整、募集要項の作成等 ・R6年度 公募、事業者決定、契約		施策分野	海の活用				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H27	宮津市公共施設等総合管理計画			H27～R7	
			R2	宮津市公共施設再編方針			R2～R12	
			期待される効果等	民間資本導入による当該エリアと地域経済の活性化				
				 				
			担当部署	企画財政部 財政課 資産活用係		45-1611	27	



令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津湾にぎわいづくり促進事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.4 京都府から田井宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受ける 田井自治会に無償貸付（運営：田井宮津ヨットハーバー管理運営組合） ・H20.3 「海の駅」登録 ・H22.9 「みなとオアシスたいみやづ」登録 ・R2.9～ 「田井臨海エリア賑わいづくりWG」を開催。施設等の在り方を検討 ・R3.7 新たな運営事業者を株式会社にしがきに決定 ・R3.10～株式会社にしがきによる田井宮津ヨットハーバーの運営スタート ・R3.11.30 第1回 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を開催 ・R4.2.16 第2回 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を開催 		8,600	500		7,400	500	200	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			15,000	国	地方創生推進交付金				500
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債				7,400
			329	繰入	まちづくり基金繰入金		500		
目的・目標	「田井臨海エリア」の海を活用した新たな賑わい創出に向け、地元地域や民間事業者と連携した魅力づくりを推進する。		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
事業概要	■田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への支援 1,000千円 「住民や観光客、家族や若者、誰もが気軽に訪れるにぎわい創出エリア」となるよう、観光や青少年教育、地域振興、経済活性化に寄与する取組を企画・実施する官民連携プラットフォームの活動を支援する。 ・田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への交付金 1,000千円 【令和4年度の事業予定】 ○民間事業者等の連携による旅行商品等の造成 ○にぎわいづくりイベントの実施 ○冬のにぎわいづくりに向けたコンテンツ(イルミネーション等)の検討 ○エリアの情報を一つにまとめた情報発信の実施 ○e-Bike等を活用した周遊の仕組みづくり ■「田井宮津ヨットハーバー」の環境整備 7,400千円 令和3年10月から財産(施設一式)を有償貸付している中、老朽化が著しく、機能復旧が必要な設備の修繕を実施する。(実施：運営者 負担：宮津市) 【修繕箇所】 ・ 棧橋フロート取替、棧橋渡り橋取替 ■B&G艇庫の管理 200千円 ■ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 3,500千円【関連事業】 ジュニアスポーツの育成のため、積極的にスポーツ活動に取り組む団体への活動支援やトップアスリートによる講演会等を実施する。		施策分野	海の活用					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	・新たににぎわいの創出による地域の活性化 ・「スポーツ×観光」のまちづくり ・観光入込客数の増加 [KPI] ○栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R1: 46.2万人 ⇒ R7: 50.8万人					
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係		45-1607	28		

事業名	持続可能な環境づくり推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 経 緯	・R2. 6:「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 6 ～R4. 3:脱炭素社会の構築に向けた再生可能エネルギーの普及・活用に関する調査の実施 ・R3.10:「気候非常事態」宣言(与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定		80,380	70,000	3,010		2,300	5,070	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目 的 目 標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組を進め、環境負荷の小さなまちを目指す。		20,710	国	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金			70,000	
			(参考)前々年度決算額	府	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金			260	
目 的 目 標			—	府	脱炭素型カーシェア・防災拠点化促進事業費補助金			2,750	
			諸	カーシェア・自動車・インフラ導入促進補助金			2,300		
事 業 概 要	■再生可能エネルギーの普及・活用に向けた調査・設計 70,000千円 令和3年度に実施した調査を踏まえ、再生可能エネルギーを活用した企業誘致やエコ観光地づくり、公共施設での率先活用に向けて実証事業モデルの構築等の詳細調査・設計を行う。 ○調査内容 ①再生可能エネルギーを活用した企業誘致による経済活性化(候補地における水源調査) ②再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり(移動ツール脱炭素化に向けた調査及び実証計画策定) ③温泉熱等を活用した観光地づくり(温泉水源探査及び温泉熱利活用の詳細検討) ④公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進(まちなか地域拠点施設(立体駐車場等)への太陽光パネルの設置に向けた調査と詳細設計) ■再生可能エネルギーの導入支援 280千円 住宅用太陽光発電システム及び蓄電池導入への支援(2件分) ■省エネ設備の導入促進に向けた普及・啓発 100千円 省エネ設備の導入を促進するため、民間企業と連携し、民間事業者を対象とした個別相談会等を実施する。 ■再生可能エネルギーの活用及び電気自動車の導入と普及・啓発 10,000千円(新規)※R3年度3月補正予算【繰越明許費の設定】 シェア型電気自動車及びソーラーカーポート一体型充電器の導入による電気自動車の普及・啓発		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事 業 概 要				施策分野	環境				
				【宮津市総合計画以外の計画】					
事 業 概 要				R3.10	宮津市環境基本計画			R3～R12	
				期待される効果等	脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・二酸化炭素排出量(年間) H25:135,000t-co2 → R7:95,000t-co2 ・市施設の公共調達における再生可能エネルギー電力の割合 R元:16.0% → R7:60.0% [参考] 太陽光発電システム 2基(8kw)の場合:約3.4t-CO2/年の削減				
事 業 概 要				担当部署	市民環境部 市民環境課 企画財政部 企画課、財政課 産業経済部 商工観光課			45-1617	31
								45-1664 45-1610 45-1663	

事業名	ごみの減量・資源化促進事業 ～資源循環型社会への転換～	新規	予算額	財 源 内 訳							
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
背景・経緯	R3.10 宮津市環境基本計画策定 R3.10 気候非常事態宣言（与謝野町と共同宣言） R4. 4 宮津与謝環境組合分担金 負担割合の変更（人口割→ごみ量割へ）		3,738		1,869		1,250	619			
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳							
			-	府	きょうと地域連携交付金	1,869	繰入	自然環境保全基金繰入金	1,250		
目的・目標	環境基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化の取組を進め、資源循環型社会への転換を図る。		(参考)前々年度決算額								
			-								
事業概要	<p>◆宮津市廃棄物減量等推進審議会の設置 1,238千円 各家庭及び事業所等から発生する一般廃棄物の減量化・資源化を進めるため、有識者及び各ステークホルダーを委員とする「宮津市廃棄物減量等推進審議会」を設置、開催する。 ・開催回数 8回</p> <p>◆可燃ごみ（生ごみ）の現状調査及び資源化の研究 2,500千円 生ごみの堆肥化等を視野に入れ、生ごみの減量化・資源化に向けた効果的な手法や事業の可能性について調査・研究を行う。 <調査・研究内容> ・事業所系生ごみ量の把握（聞き取り、サンプル調査など） ・他市町等先進事例の調査・研究 ・必要経費等の算出及び事業化に向けた意見交換</p> <p>◆ITサービスを活用したリユース事業の研究（ゼロ予算） 既存ITサービス「ジモティ」を活用した「リユース」事業について、事業の可能性を調査・研究する。</p>		総計重要プロジェクト	—							
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり							
			施策分野	環境							
			【宮津市総合計画以外の計画】				R3	宮津市環境基本計画		R3～R12	
			期待される効果等				<p>○ごみの再資源化率の向上[第7次総合計画KPI] 目標:19.4% → 25.0%(R7)</p> <p>○一人一日当たりごみ排出量[環境基本計画KPI] 目標:972g → 875g(R12)</p>				
							 				
			担当部署				市民環境部 市民環境課 環境衛生係		45-1617	33	

事業名	天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業 (天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業)	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 天橋立の穏やかな自然環境と駅に近接するアクセス環境の良さから、32年の長きにわたり毎年6月にビーチバレーボール京都府大会が天橋立海岸で開催されている。 世界遺産登録を目指す「天橋立」は、従来、市民の清掃活動等により地域の宝として保全承継されており、本年、名勝指定100年・特別名勝指定70年を迎える。 名勝指定周年記念を契機として、幅広い世代の市民が「天橋立」を身近に感じられる機会の創出を図り、郷土愛の醸成などSDGsを意識した持続可能な取り組みが必要となる。 		550		275		200	75	
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
			—	府	きょうと地域連携交付金	275			
				繰入	教育基金繰入金	200			
	(参考)前々年度決算額		—						
目 的 ・ 目 標	天橋立で開催されるビーチバレーボール大会を、一層地域に根付く大会とするため、清掃活動やジュニア指導などを実施し、環境啓発も意識した市民参加型の大会として活性化するよう取り組むとともに、周年記念イベントとして、多くの市民に「天橋立」を体感してもらい、スポーツを通じた賑わい創出から保全承継に繋がる機会づくりに取り組む。	総計重要プロジェクト	—						
		テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
事 業 要 概	<p>■天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業 500千円</p> <p>「天橋立」をフィールドに、京都府バレーボール協会と連携し、ビーチバレーボール大会開催時にスポーツ要素を加えた清掃活動(スポGOMI)を実施するほか、名勝・特別名勝周年記念事業として、宮津市地域女性の会などと賑わいイベントを行う。</p> <p>○第33回ビーチバレーボール京都府大会・スポGOMIの開催〈6月〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ビーチバレーボール京都府大会の開催にあわせて関係者で清掃活動を実施 地元小中学生対象のビーチバレーボールジュニア教室の開催 <p>※スポーツごみ拾い(スポGOMI)とは 企業や団体が取り組む従来のごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へ発展させた新しいスポーツ。 「ごみ拾いはスポーツだ」を合言葉に、子どもから高齢者まで気軽に参加できるチーム対抗(3~5名)の競技とし、集めたごみの重さにより勝者を決定。</p> <p>○天橋立エコ・スポーツフェスティバルの開催〈9月〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 第8回京都府ビーチバレーボール大会及び清掃活動の開催 宮津市地域女性の会、その他連携イベント開催 	施策分野	文化・スポーツ振興						
		【宮津市総合計画以外の計画】							
		H30	第2期宮津市スポーツ推進計画				H30~R4		
		R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画				R3~R7		
		期待される効果等	<p>エコ・スポーツを通じたスポーツ観光の推進</p> <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人の週1回以上のスポーツ実施率 H29:32.3% → R7:50.0%(R4) 						
									
担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係			45-1664		34			



事業名	SDGsによる持続可能な地域づくりに向けて (SDGs推進事業)	新規	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27.9：国連サミットでのSDGs（2030アジェンダ）の採択 ・ H28.12：国のSDGs実施指針（R元.12一部改訂） ・ R3.5：宮津市SDGs推進本部（庁内組織。市長が本部長）の設置 ・ R3.9：宮津市SDGs地域プラットフォーム（市民主体の連携組織）の設置 ・ R3.12：国がSDGsアクションプラン2022を発表 ・ R4.2：宮津市版SDGs推進アクションプランの策定 2022年度SDGs未来都市等に応募（R4.5～6月に国において選定、公表） 		500		250		250	0		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			—	府	きょうと地域連携交付金			250		
				繰入	自然環境保全基金繰入金			250		
目的・目標	本市地域の3分野(①経済②社会③環境)での課題やこれらを横断する課題の解決に向けて、庁内組織である「宮津市SDGs推進本部」と、市民主体の連携組織である「宮津市SDGs地域プラットフォーム」が連携し、SDGsの推進を図る。		(参考)前々年度決算額							
			—							
事業概要	<p>■SDGsの推進に向けた体制の構築 500千円 令和4年2月に策定予定の「宮津市版SDGs推進アクションプラン」に基づき、市民が起点となるSDGsの取組みを進める。</p> <p>○地域プラットフォーム 地域や企業、団体等が参画する「地域プラットフォーム」（令和3年度設置）を運営し、SDGsの推進に向けた協働体制の構築や担い手育成につなげる。</p> <p>《参考 地域プラットフォームの開催状況等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催状況 R3.9月設置、3回実施 ・ 参加者 延べ27人 		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	—						
			施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R3	宮津市環境基本計画				R3～R12		
期待される効果等	<p>○持続可能な開発目標「SDGs」の意識の醸成</p> <p>○SDGsの推進による新たな宮津ブランドの構築</p> <p>【第7次宮津市総合計画】 将来像の実現に向けた5つの視点 (3)SDGs</p> <p>【宮津市環境基本計画】 5環境の担い手育成</p>									
担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係		45-1617	35						





「宮津市SDGs地域プラットフォーム」
令和3年度の実施の様子




事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業ほか) ～デジタル技術活用による新たな価値の創造～	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R02.12:デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(閣議決定) 行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用し、業務効率化を図るとともに住民の利便性を向上させること ・R02.12:デジタル・ガバメント実行計画(閣議決定) ・R02.12:自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画(総務省) ・R03.06:宮津市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進本部設置 		53,063	40,426	2,982		6,681	2,974
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	デジタル技術の活用により、市民生活の利便性の向上や地域課題解決につなげるとともに、市役所業務の効率化・高度化を図るもの。		—	国	社会保障・税番号制度構築事業費補助金			8,590
			(参考)前々年度決算額	国	地方創生臨時交付金			31,836
			—	府	きょうと地域連携交付金			2,982
事 業 概 要	<p>■DX推進計画の策定及び専門人材の確保 2,529千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮津市DX推進計画の策定 100千円 ○デジタル外部人材の登用 2,429千円【(再掲)「副業・兼業プロ人材活用事業」(3月補正)】 <p>■デジタル技術を活用したサービス等の高度化・向上 43,178千円</p> <p>① デジタル技術を活用したオンライン診療の実証事業 14,000千円 【(再掲)「地域医療推進事業」(3月補正)】 持続可能な地域医療体制の構築に向け、医療MaaS等によるオンライン診療の実証事業を実施</p> <p>② マイナンバーカードを活用した転出・転入手続きの簡素化 13,815千円【3月補正 繰越明許費の設定】 転出・転入手続きのワンストップ化等行政手続のオンライン化</p> <p>③ 市役所内部の簡素化・効率化 15,363千円 【3月補正:9,500千円(繰越明許費の設定)、令和4年度当初予算:5,863千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所業務システムの国標準化に向けた改修等 ・大量印刷物の外部印刷化による業務効率化に向けたシステム改修 <p>■マイナンバーカードの普及・促進に向けた体制強化 7,356千円</p> <p>今後の行政サービス等のデジタル化を推進する鍵となる「マイナンバーカード」の普及・促進に向け、交付体制を強化 ※国の経済対策に伴うマイナポイント付与(最大2万円分)を踏まえた交付体制強化</p>		総計重点プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	—				
			施策分野	—				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R2	第2期行財政運営指針				R2～R7
			期待される効果等	<p>1. 地域医療の課題解決</p> <p>2. 市役所サービスの高度化、向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理時間の短縮 ・転出・転入手続きのワンストップ化で効率化 ・行政手続きの非接触受付件数の増加 <p>3. 新たな価値創造のための市役所の業務効率化・高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理業務の削減による総労働時間の削減・チャレンジ時間創出 ・将来の職員数に見合う業務量の削減・業務改革の遂行 				
			担当部署	総務部総務課 情報推進係		45-1602		36・37
	企画財政部企画課 定住・地域振興係		45-1607					
	市民環境部市民環境課 市民窓口係		45-1614					
	健康福祉部健康介護課 健康増進係		45-1624					

事業名	未来の庁舎について考える市民会議（庁舎管理事業）	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 宮津市公共施設再編方針書（令和2年9月策定） 宮津市役所庁舎（本館、新館、別館）について、耐震安全性を満たしていないこと等から、おおむね5年以内の実施を目標として更新することとしている。 市庁舎については、市民サービスの極めて重要な拠点であると同時に、市政の執行機関である市長等の機関、また市政の議決機関である議会の機関が配置され、また、非常事態時の防災拠点であり、市政のシンボル、市のランドマークでもある最も重要な公共施設であることから、更新に当たっては、市民、議会をはじめ市政に関わる多くの関係者の合意形成を図りながら具体的手法を定めていく必要。 		500					500	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—						
			(参考)前々年度決算額						
目的・目標	市役所庁舎のあり方について、基礎的な研究を進める中、未来の宮津市を担う若年層から市役所庁舎についてのアイデアを募り、基本構想立案に向けた準備を行う。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
事業概要	<p>■未来の庁舎について考える市民会議 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会議メンバー <ul style="list-style-type: none"> ・若年層市民30名（予定） ○コーディネーター <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ○主な検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の位置、役割、機能、整備手法など ○会議運営のイメージ <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ形式によるアイデア出し等 ○その他市民意向の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・市民会議と並行して市民全体を対象としたアンケートを実施 		施策分野	—					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R2	宮津市公共施設再編方針書					
		期待される効果等	市役所庁舎の基本構想立案への市民意見の反映						
			 						
		担当部署	総務部 総務課 情報推進係		45-1602	38			





事業名	有害鳥獣対策事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.11～ 狩猟期間中のシカ捕獲に対する捕獲奨励金の開始 ・H26.7～ 鳥獣被害対策実施隊「サル対策班」設置、追払い・捕獲活動の開始 ・H27.9～ 鳥獣被害対策実施隊「シカ対策班」設置、銃器捕獲の開始 ・R2.4～ 宮津市有害鳥獣処理施設等の稼働 		41,010		14,298	5,500		21,212	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	恒常的に発生している有害鳥獣被害に対応するため、駆除業務の実施、防除活動の促進を行い、農業被害や生活環境被害の軽減を図るとともに、食材等の地域資源として有効利用するため、ジビエ活用の産業化・ブランド化を進める。		29,917	府	緑の公共事業補助金		13,816		
			(参考)前々年度決算額	府	事務委任交付金		482		
			市債	過疎対策事業債		5,500			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■有害鳥獣の捕獲 12,324千円 イノシシ、ニホンジカ、小動物等有害鳥獣の捕獲・処分を猟友会等へ委託 ■有害鳥獣処理施設等の管理運営 24,566千円 減容化処理による有害鳥獣処理施設、中間保管施設の管理運営 ○施設の光熱水費等、処理業務を猟友会へ委託 14,966千円 ○【新規】減容化処理の適正化に向けた大型冷凍庫の増設 9,600千円 減容化処理量の低減(160kg/日→100kg/日)による臭気抑制や安定運転を図るため、捕獲鳥獣の一時保管用の大型冷凍庫を処理施設に増設するもの ■ニホンジカ対策の強化 1,163千円 市内全域で被害が拡大しているニホンジカの捕獲強化を継続 ○狩猟期間中(11/15～3/15)のシカ捕獲に対する捕獲奨励金 750千円 ○鳥獣被害対策実施隊(シカ対策班)による銃器捕獲(巻き狩り) 413千円 ■ニホンザル対策 1,388千円 ○ニホンザル宮津A群の個体数調整(伊根町との共同事業) 100千円 ○鳥獣被害対策実施隊(サル対策班)による定期パトロール・捕獲等 1,163千円 ○地域のニホンザル追払い活動の支援 125千円 ■その他 1,569千円 猟銃購入・猟銃免許取得等支援、クマ出没対応等 ■ジビエ利活用の推進【宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会事業】 ○ジビエハンターの養成、ジビエ捕獲の効率化に向けた研修 など 		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
			施策分野	農林水産業振興					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H30	ニホンザル宮津A群個体数調整計画			H30～R10		
			R1	宮津市鳥獣被害防止計画			R2～R4		
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による農林業及び生活環境への被害の低減 ・営農意欲の低下や荒廃農地の発生防止 					
					 				
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係		45-1626	70		

事業名	みやづ城東タウンリノベーション事業（定住促進住宅整備事業） ～地域福祉を支える福祉人材確保対策の強化～	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	<ul style="list-style-type: none"> S63～H18:関西電力（宮津エネルギー研究所）社宅 H19.4:関西電力㈱から建物（定住促進住宅用家屋）を寄付受納 H19.4:関西電力㈱と一般定期借地権設定契約を締結（借地権50年間 ～R39.3末） H19.5:市営住宅（52戸規模）として入居開始 		20,000			20,000		0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				市債	過疎対策事業債		15,000	
		市債	公営住宅整備事業債		5,000			
目 的 標	<ul style="list-style-type: none"> みやづ城東タウンのリノベーションや入居要件の拡充により、移住・定住促進を目的とした住環境を整えることで、「住みやすい」まちづくりの推進を図る。 慢性的な福祉分野の人材不足の解消に向けて、魅力あるまち“みやづ”をPRし、働きやすい環境を整える。 		(参考)前々年度決算額					
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事 業 要 概	<p>■みやづ城東タウンリノベーション 20,000千円</p> <p>老朽化した住戸のリノベーションを実施するとともに、エッセンシャルワーカー（福祉分野の就労者）向けの優先入居枠を設定し、住環境を整えるもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リノベーション内容 <ul style="list-style-type: none"> 間取りの変更、設備更新等 ○入居条件の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 社会機能を維持する福祉分野（医療、介護、保育等）の就労者の優先入居枠を設定 ○入居時期 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月予定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><住宅の概要></p> <p>建築年 昭和63年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4階建て共同住宅（A棟・B棟） 3DK48戸（2棟×24戸） 住戸面積58.1㎡/戸 ○2階建てテラスハウス（C棟） 3DK4戸 住戸面積64.3㎡/戸 </div>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり 健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり				
			施策分野	移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	宮津市公営住宅等長寿命化計画			R元～R10	
			H31	宮津市地域福祉計画			H31～R5	
			R3	第9次宮津市高齢者保健福祉計画			R3～R5	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションや様々な活用方策による移住・定住の促進 ・入居率の向上による増収 ・慢性的に不足している福祉人材（医療、介護、保育等）の確保 				
担当部署	建設部都市住宅課 建築住宅係		45-1631		97・172			
	健康福祉部社会福祉課 地域福祉係		45-1618					

事業名	持続可能な地域を目指したエリア連携構想の推進と地域コミュニティのあり方検討(「橋をつなごう」総合計画等推進事業、自治会活動支援事業)	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 地域(エリア)を維持・発展させていくためには、地域(エリア)を越えた連携を図っていくことが必要。 人口減少、新型コロナウイルスの感染拡大等、地域を取り巻く環境が大きく変化する中、自治会加入者の減少や役員のなり手不足といった課題への対応が必要。 		841	420				421
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			—	国	地方創生推進交付金			420
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域(エリア)の皆様と一緒に話し合った上で、様々な課題の把握や解決に向けた地域(エリア)のあり方・方法等を構築・実施していく(エリア連携構想を推進する)もの。 自治連合協議会が実施する持続可能な地域コミュニティのあり方検討を支援するもの。 		(参考)前々年度決算額					
			—					
事業概要	<p>■エリア連携構想の推進 391千円 エリア連携構想の推進に向けた共創ミーティングの展開。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【第7次宮津市総合計画 将来構想 4 エリア連携構想】</p> <p>各地区において人口減少・高齢化に歯止めがかからず、急激に進む中、地域を維持・発展させていくためには、地域コミュニティの維持や交通、医療等の様々な課題や地域振興策等について地域を越えた連携を図る必要があります。しかし、課題の解決や地域振興策等の維持・充実に向けて連携する地域は、課題等の内容によりその範囲等が変化するとともに、連携を推進するためには地域の皆さんの理解と協力が必要となります。</p> <p>そのため、総合計画策定時点では連携すべき課題や地域等は定めず、令和3年度以降、地域の皆さんと一緒に話し合い、様々な課題の把握とその解決に向けた連携のあり方・方法等を構築、実施していきます。</p> </div>  <p>■持続可能な地域コミュニティのあり方検討の支援等 450千円 学識経験者の助言を受けながら宮津市自治連合協議会が行う持続可能な地域コミュニティのあり方についての検討、取りまとめを支援等。</p>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	地域コミュニティ				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の主体的なまちづくり活動の促進 地域コミュニティの基礎となる自治会の活性化 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元:4地域・団体 ⇒ R7:8地域・団体 自治会加入世帯割合 R元:77.23% ⇒ R7:80.0% 地域活動に参加した割合 R元:42% ⇒ R7:60% 				
				担当部署	総務部総務課 情報推進係 企画財政部企画課 企画政策係	45-1602 45-1664	102	



事業名	地域の安全と安心を守る暮らしの基盤整備 (道路新設改良事業)	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備を行う。 ・H24：橋梁長寿命化修繕計画策定 ・H25：道路ストック点検実施 ・H26：宮津市通学路交通安全プログラム策定 ・H26～H29：橋梁の近接目視による法令定期点検実施（1順目） ・R1.6：未就学児集団移動経路の緊急点検実施 ・R3.9：通学路における緊急点検を実施 ・R3.10：宮津市通学路等安全推進協議会開催		108,919	52,117		51,500		5,302	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			121,002	国	道路整備事業費補助金		52,117		
				市債	道路整備事業債		5,200		
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債		30,900		
		市債	辺地対策事業債		15,400				
補正理由 及び 目的・目標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境をつくる。		総計重点プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事業概要	■子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策 52,000千円 【令和3年度3月補正予算:12,000千円(繰越明許費の設定)】 ○通学路緊急安全対策（3月補正） ・髪屋敷家ノ堂立線 3,000千円 設計委託 ・役場西山線、島崎京口線他8路線 9,000千円 路肩拡幅、路面カラー舗装等 【令和4年度当初予算:40,000千円】 ○通学路安全対策 ・中橋惣線、役場西山線 40,000千円 路肩拡幅、歩道整備 ■暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備 55,000千円 【令和4年度当初予算:55,000千円】 ○橋梁長寿命化対策 ・大雲橋、宮川上橋他7橋 28,000千円 橋梁設計、橋梁断面補修 ・橋梁定期点検 12,000千円 法定定期点検 ○防災カルテにおける危険法面等対策 ・小田辛皮線 15,000千円 法面对策 ■事務費等 1,919千円		施策分野	社会基盤・防災減災					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H24	宮津市橋梁長寿命化修繕計画		H24～			
			H26	宮津市通学路等交通安全プログラム		H26～			
			期待される効果等	安全・安心・快適に過ごし続けられる暮らしの基盤の向上 ○児童・生徒の安全な通学環境の確保 ○道路利用者の安全確保 [第7次宮津市総合計画目標数値目標] ○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率 R2末:7.1% ⇒ R7:31%					
				 					
担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629		110				

事業名	河川整備事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・滝馬川流域の浸水被害（床上・床下浸水） H16.10台風23号・H25.9台風18号・H29台風18号, 台風21号・H30.7月豪雨, 台風24号 ・R元.12:宮津市国土強靱化地域計画策定 ・R2滝馬川改修促進協議会と意見交換等を重ね、整備計画をまとめる。		105,000			105,000		0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、頻発する滝馬川周辺地域の浸水被害の軽減を図るため、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、災害に強い河川の整備を進める。		145,000	市債	河川整備事業債			105,000
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	■河川整備事業 105,000千円 ○滝馬川河川整備工事(緊急自然災害防止対策事業)計画区間 L=477m R3~R4整備 L=142m 主な工種:護岸工		56,458					
			総計重要プロジェクト	—				
事業概要			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	社会基盤・防災減災				
事業概要	【宮津市総合計画以外の計画】 R元 宮津市国土強靱化地域計画策定 R1~R5		期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・災害による死亡者数 R2:0人⇒R7:0人/5年 ・緊急性の高い河川の整備 R2:0河川⇒R7:1河川				
			担当部署	建設部 土木管理課 土木係	45-1629	114		

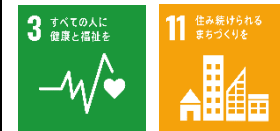




事業名	消防団運営事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に係る消防団員の出動状況（警戒含む水火災その他災害） H30：21回延べ1,518人（7月豪雨に伴う水防、巡回警備、救助補助、給水活動等） R元：14回延べ639人（台風等に伴う水防、巡回警備など） ・一方で地域の少子高齢化、若年人口の減少により消防団員の確保が難しい状況 ・消防庁通知「地域防災力の中核となる消防団の充実強化について」（R4.1.28） 団員確保に向けた積極的な取組の要請及び団員報酬に係る交付税措置の拡充 		50,441				13,100	37,341	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			36,566	諸	消防団員退職報奨金給付金	13,000			
			(参考)前々年度決算額	諸	消防団員等公務災害補償費給付金	100			
			42,652						
目的・目標	地域防災の要である消防団を適切に運営するとともに、消防団組織・団員を維持確保する。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事業概要	<p>■団員報酬等の改定（拡充） 16,061千円 国の示す交付税基準額等に応じた報酬等の改定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員年額報酬 36,500円（団員の場合）※改訂前18,500円 ・災害出動手当 1回4,000円（4h超で1,000円ずつ加算）※改訂前1回2,500円 <p>■消防団員活動・運営 34,380千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操法大会、出初式 ・火災想定訓練・機械点検等 ・退職報奨金、公務災害補償等共済基金掛金、災害補償費 ・活動周知の強化（新規） 消防団広報誌を年2回発行 ・将来の消防団人材育成に向けた取組（新規） 就学前施設と連携した防火教室の開催、消防団親子の交流事業など <p>※活動に係る負担軽減を図るとともに、消防署と合同の分団火災想定訓練など実践的な活動機会の充実を図る。</p>	 	施策分野	社会基盤・防災減災					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	消防団組織の維持確保による防災力、災害時対応力の維持強化					
	  								
担当部署	総務部 消防防災課 消防防災係					45-1605	125		

事業名	地域交通政策事業 (過度に自家用車に頼らないための公共交通の魅力創出)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.10：丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ。以後、路線再編に向けて協議開始。 ・R 2. 4：上宮津線、養老線、日ヶ谷線が廃止。新たに地域主体の「交通空白地有償運送」による運行が開始。 ・R 2.10：島陰新宮由良線が廃止。由良地区では新たに地域主体による運行が開始。栗田地区では、200円タクシーの取り組みがスタート。田井線を観光需要に対応した路線へ再編。 ・R 2. 6：地域公共交通活性化再生法の改正により地域公共交通計画策定が努力義務化(計画制度と補助制度が連動化) ・R 3. 4：京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会設立 ・R 4. 3：京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画策定 		540					540	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			744						
			(参考)前々年度決算額						
目 的 標	第7次宮津市総合計画に掲げる関係人口の創出や若者が住みたいと思えるまちづくりを重点に推進していく動きとして、また、令和3年度策定の地域公共交通計画に基づく利用促進の動きとして、過度に自家用車に頼らないための公共交通の魅力創出を図る。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事 業 要 概	<p>■宮津市地域公共交通会議の運営 340千円 令和3年度に策定した「地域公共交通計画」の進捗管理や「先進モビリティサービス検討部会」における自動運転等の導入に向けた関係者の合意形成や具体の取り組みについて検討を進める。 ○開催回数 5回/年(地域公共交通会議3回・先進モビリティ部会2回) ○主な内容 ・地域公共交通計画の進捗管理等 ・先進モビリティ等導入に向けたニーズ調査、試行ルート等の検討 ※グリーンスローモビリティ等の導入に向けてエネ高事業で計上</p> <p>■過度な自家用車依存からシフトする利用機会の創出 200千円 地域公共交通計画に掲げる過度な自家用車依存からの転換を目指し、京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会とも連携し、選ばれる公共交通として利用機会の創出に取り組む。 ○公共交通乗車体験ツアーの実施 ・親子連れや高齢者など幅広い世代を対象とした乗車体験を実施 ○乗り継ぎ環境等の改善に向けた交通事業者との意見交換 など</p> <p>■交通安全対策事業〈高齢者運転免許証自主返納支援〉 1,868千円【関連事業】 第11交通安全計画や地域公共交通計画に基づき、警察機関や交通事業者等と連携し、スムーズで効果的な高齢者の運転免許証自主返納などを促進する。</p>		施策分野	公共交通					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H26	北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画	H27～R6				
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画	R4～R8				
			〃	宮津市地域公共交通計画	R4～R8				
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的で持続可能な公共交通の確立 ・シームレスな(継ぎ目のない)移動しやすい交通体系の構築 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用者数 R元:192万人 ⇒ R7:223.2万人 					
担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664		150				

事業名	成年後見制度の利用促進体制の構築 (成年後見支援センター運営事業、地域生活支援事業ほか)	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	成年後見制度利用促進法（H28.5）第14条及び国指針より、成年後見制度の利用促進に係る基本的な計画の策定及び推進体制の整備が必要とされた。		298 (介護特会含む全体事業費3,850)	15	7			276	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
				国	地域生活支援事業費補助金		15		
目的・目標	宮津市福祉・教育総合プラザ内に「宮津市成年後見支援センター」を設置し、成年後見制度に係る相談や利用支援、普及啓発を行うほか、支援の必要な人を早期発見し、適切な支援につなげるため関係機関相互の連携強化を図る。		(参考)前々年度決算額	府	地域生活支援事業費補助金		7		
			総計重点プロジェクト	—					
事業概要	■成年後見支援センターの運営 2,616千円（うち一般会計分298千円） 支援を必要とする市民等の把握や情報の提供、相談等への対応を行うとともに、適切な支援につなげるための総合窓口を設置 【機能】 ○支援を必要とする方への相談、利用支援 ○成年後見制度に関する普及啓発 ○後見人の活動支援 など 【地域連携ネットワークの構築】 ○地域の福祉、介護、医療等の機関等のネットワーク化を図り、支援が必要な方の早期発見や適切な支援につなげるもの ■成年後見人等の報酬助成 1,234千円 成年後見制度の利用が必要な方のうち、費用負担が困難と認められる人に対する申立費用及び後見人への報酬の助成		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
			施策分野	地域福祉					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H31	宮津市地域福祉計画				H31～R5	
			R3	第9次宮津市高齢者保健福祉計画・第8期宮津市介護保険事業計画				R3～R5	
			R3	宮津市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画				R3～R5	
			期待される効果等	権利擁護支援が必要な方への適切な支援の実施					
担当部署	健康福祉部健康・介護課 介護予防係 社会福祉課 障害福祉係		45-1620 45-1622	152					

事業名	持続可能な地域医療・健康づくり推進事業（地域医療推進事業）	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	・R3.3 宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置 ・R4.2 上記委員会から市長に提言 【主な提言内容】 ○実効性のある包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸施策の推進 ○橋北地域の拠点医療施設に係る整備計画の検討 ○オンライン診療など新たな医療提供の検討		17,000	15,500				1,500	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—	国	地方創生推進交付金			1,500	
				国	地方創生臨時交付金			14,000	
			(参考)前々年度決算額						
目的・目標	将来に渡り安心して医療を受けられる環境の維持、健康寿命延伸のため、デジタル技術を活用した健康医療に係る研究・実証事業を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
事業概要	■医療・健康づくり研究事業 3,000千円 ○健康寿命の延伸に向けた調査研究 ・生活習慣病の予防研究 など ○新たな医療提供体制のあり方 ・少子高齢化が進展する中で地域に合った医療提供のあり方を研究 ■医療MaaS実証事業 14,000千円【R3補正：繰越明許費の設定】 医療車両を活用したオンライン診療等の導入に向けた実証を行う。 ○事業期間 約6ヶ月 ○事業概要 ①医療器材がセットされた車両に看護師が乗車し、患者宅へ ②患者は車両に乗り込み、オンラインで医師の診察を受ける。 医師は看護師に必要な指示を行いながら診察を行う。 ※実施体制 宮津市持続可能な地域医療推進協議会（仮） 構成団体：京都府立医科大学附属北部医療センター 一般社団法人与謝医師会、訪問看護ステーション、薬局、 宮津市ほか		施策分野	健康・医療					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	第9次宮津市高齢者保健福祉計画・第8期宮津市介護保険事業計画	R3～R5				
			期待される効果等 ・医療機会の確保 ・健康寿命の延伸 ・持続可能な地域づくり						
			担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	45-1624	172-181			



事業名	ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業～世界へと夢をつなぐ～	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツの活性化により、全国・世界大会に出場する選手も出ており、こうした選手の活躍はまちの活力となり、地域に元気を与えている。 ジュニア層の競技力向上を契機に組織体制の強化を図り、スポーツ大会誘致等のスポーツ観光を推進する取り組みが必要である。 		3,500	1,750			1,750	0
		(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	<p>「豊かな心と体が育まれるスポーツのまち」の実現を目指し、ジュニアスポーツ団体への活動支援を通じたジュニアスポーツの育成・組織強化を図ることにより、スポーツ大会誘致等のスポーツ観光を推進する。</p> <p>※ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業は、まち・ひと・しごと創生基金(株式会社にしがきの寄附金を原資)を活用</p>		-	国 繰入	地方創生推進交付金 まち・ひと・しごと創生基金繰入金		1,750 1,750	
		(参考)前々年度決算額						
事 業 要 概	<p>■ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 3,500千円</p> <p>ジュニアスポーツの育成のため、積極的にスポーツ活動に取り組む団体の活動を支援する。</p> <p>◆ジュニアスポーツ育成チャレンジ支援 2,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国大会を目指し競技力向上に取り組むことを宣言した団体を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ宣言団体への支援 上限15万円 (経費の10/10、5万円/団体、中学・高校との連携加算各5万円) ○過去5年間において全国大会出場の実績があり、一層、競技力向上に取り組むことを宣言した団体を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ宣言団体への支援 上限40万円 (経費の10/10、30万円/団体、中学・高校との連携加算各5万円) ○共通 <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場 5万円(年度内2回まで) ・世界大会出場20万円(年度内1回限り)を支援 <p>◆研修会・講習会等の開催 1,000千円</p> <p>ジュニアスポーツの怪我防止等の研修会やトップアスリートによる講習会等の開催による個人・団体への支援</p>	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
		施策分野	文化・スポーツ振興					
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H30	第2期宮津市スポーツ推進計画			H30～R4	
			R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画			R3～R7	
			ジュニアスポーツの育成とスポーツ観光の推進					
			【第7次宮津市総合計画目標数値】					
			・成人の週1回以上のスポーツ実施率 H29:32.3% → R7:50.0%(R4)					
		期待される効果等	 					
		担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664	210		



事業名	持続可能な行財政運営有識者会議（税務事務事業）	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R元～R5 財政健全化に向けた取組み R3～R12 第7次宮津市総合計画 R3～R12 宮津市第2期行財政運営指針 		500					500	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	<p>宮津市第2期行財政運営指針に基づき、将来を見据えた財政基盤の構築を図る必要があることから、外部委員による「持続可能な行財政運営有識者会議」を設置し、持続可能な歳入確保や行政サービスのあり方について具体的提案・助言を受け、行財政運営の健全化を推進する。</p>		(参考)前々年度決算額						
			—						
事業概要	<p>■「持続可能な行財政運営有識者会議」の設置・運営等 500千円</p> <p>○「安定した行財政基盤の構築」に向けた有識者会議の設置・運営</p> <p>【委員の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共政策（定住・空家対策、規制緩和、税外収入等） ・ 都市政策（都市計画、住宅等） ・ 産業政策（企業立地、産業育成等） ・ 金融、地域経済（金融機関、会計士、税理士等） ・ 行政 <p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期的、中長期的な視点に立った持続可能な歳入の確保のあり方 ・ 持続可能な行政サービスのあり方 <p>○持続可能な行財政運営有識者会議の開催に向けた市内の動き【ゼロ予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮津市滞納対策本部（滞納対策プロジェクトチーム）【令和3年度設置】 ・ 財政基盤安定化プロジェクトチーム（仮称）【令和4年度設置予定】 		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	—					
			施策分野	—					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	宮津市第2期行財政運営指針		R3～R12			
			期待される効果等	宮津市第2期行財政運営指針の収支計画に基づく財源不足(約16億円)の着実な解消					
担当部署	市民環境部 税務・国保課 企画財政部 財政課		45-1612 45-1610	234					



会計名等	土地建物造成事業特別会計			設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施を行う										
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>				歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減
	歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減											
	歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減											
	1 事業収入(土地売払収入)	9,230	9,228	2	1 総務費	1	1	0							
	2 財産収入	2	2	0	2 事業費	428	440	△ 12							
					3 公債費	500	500	0							
				4 予備費	8,303	8,289	14								
合 計	9,232	9,230	2	合 計	9,232	9,230	2								
予算概要 (予算の特徴)	<p>移住・定住促進のため、つつじが丘団地の販売を進める。 ○「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」と「みやづUIターンサポートセンター」の機能を一体的に連携させる中で、地域住民との意見交換会を実施しながら、いろいろなチャンネルにおいて販売促進を展開。</p>														
備考 (特記事項)	<p>○平成17年からの販売価格について、令和元年度(平成31年度)に不動産鑑定評価額に合わせて変更 ※1区画当たり平均39千円/m²⇒22千円/m² ○つつじが丘団地造成事業における残区画数:32区画(R4年1月末時点) ※販売実績:R3年度 1区画(R4.1月末時点)、R2年度 0区画、R1年度 4区画、H30年度 0区画、H29年度 0区画</p>														
担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係					TEL	45-1607	特 1							



令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。																																
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>				歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減																						
	歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減																																	
	歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減																																	
	1 国民健康保険税			382,615	353,873	28,742	1 総務費				39,129	37,213	1,916																								
	2 使用料及び手数料			200	200	0	2 保険給付費				1,384,732	1,434,248	△ 49,516																								
	3 府支出金			1,414,590	1,458,142	△ 43,552	(項)療養諸費				1,208,350	1,257,240	△ 48,890																								
	(節)普通交付金			1,371,719	1,421,378	△ 49,659	3 国民健康保険事業費納付金				530,272	495,180	35,092																								
	(節)特別交付金			42,871	36,764	6,107	4 保健事業費				55,311	53,831	1,480																								
	4 財産収入			16	16	0	5 基金積立金				16	16	0																								
	5 繰入金			206,994	205,500	1,494	6 公債費				100	100	0																								
	(目)一般会計繰入金			186,994	185,500	1,494	7 諸支出金				3,004	3,004	0																								
	(目)基金繰入金			20,000	20,000	0	8 予備費				760	1,919	△ 1,159																								
	6 繰越金			3,100	3,000	100																															
	7 諸収入			5,809	4,056	1,753																															
△ 国庫補助金			0	724	△ 724																																
合 計			2,013,324	2,025,511	△ 12,187	合 計				2,013,324	2,025,511	△ 12,187																									
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■ 国保制度の都道府県単位化(H30～)により、京都府が算定する国保事業費納付金及び標準保険税率に基づき、適切な国保事業の運営を図る。 ○ 歳入においては、国保事業納付金の増により国民健康保険税は8.1%増、保険給付費の減により府支出金は3.0%減。 ○ 歳出においては、被保険者数の減及び1人当たり医療費の減により保険給付費は3.5%減。府全体の1人当たりの医療費の増や府全体における本市被保険者数及び所得のシェア割合の増等により、国保事業費納付金は7.1%増。 ○ 第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画(H30年度策定)に基づき、引き続き特定健診及び特定保健指導などの保健事業を推進。</p>																																				
<p>備 考 (特記事項)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1決算</th> <th>R2決算</th> <th>R3当初</th> <th>R4見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たり保険税 増加に転じる</td> <td>85,721円</td> <td>86,193円</td> <td>78,850円</td> <td>86,758円 (+10.0%)</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医療費 減少に転じる</td> <td>385,051円</td> <td>378,529円</td> <td>376,072円</td> <td>368,235円 (△2.1%)</td> </tr> <tr> <td>被保険者数(平均) 引き続き減少</td> <td>4,745人</td> <td>4,607人</td> <td>4,469人</td> <td>4,406人 (△1.4%)</td> </tr> <tr> <td>国保事業基金残高</td> <td>164,194千円</td> <td>177,194千円</td> <td>157,211千円</td> <td>137,226千円 (△19,985千円)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">   </div>													R1決算	R2決算	R3当初	R4見込	1人当たり保険税 増加に転じる	85,721円	86,193円	78,850円	86,758円 (+10.0%)	1人当たり医療費 減少に転じる	385,051円	378,529円	376,072円	368,235円 (△2.1%)	被保険者数(平均) 引き続き減少	4,745人	4,607人	4,469人	4,406人 (△1.4%)	国保事業基金残高	164,194千円	177,194千円	157,211千円	137,226千円 (△19,985千円)
	R1決算	R2決算	R3当初	R4見込																																	
1人当たり保険税 増加に転じる	85,721円	86,193円	78,850円	86,758円 (+10.0%)																																	
1人当たり医療費 減少に転じる	385,051円	378,529円	376,072円	368,235円 (△2.1%)																																	
被保険者数(平均) 引き続き減少	4,745人	4,607人	4,469人	4,406人 (△1.4%)																																	
国保事業基金残高	164,194千円	177,194千円	157,211千円	137,226千円 (△19,985千円)																																	
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>							<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特2</p>																											

<p>会計名等</p>	<p>後期高齢者医療特別会計</p>			<p>設置目的</p>	<p>原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。</p>																																																										
<p>予 算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td>269,902</td> <td>262,137</td> <td>7,765</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>104,551</td> <td>102,278</td> <td>2,273</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入</td> <td>605</td> <td>771</td> <td>△ 166</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>375,168</td> <td>365,296</td> <td>9,872</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減	1 保険料	269,902	262,137	7,765	2 使用料及び手数料	10	10	0	3 繰入金	104,551	102,278	2,273	4 繰越金	100	100	0	5 諸収入	605	771	△ 166	合 計	375,168	365,296	9,872	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>4,303</td> <td>2,596</td> <td>1,707</td> </tr> <tr> <td>2 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td>366,861</td> <td>358,530</td> <td>8,331</td> </tr> <tr> <td>3 保健事業費</td> <td>3,304</td> <td>3,470</td> <td>△ 166</td> </tr> <tr> <td>4 諸支出金</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 予備費</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>375,168</td> <td>365,296</td> <td>9,872</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減	1 総務費	4,303	2,596	1,707	2 後期高齢者医療広域連合納付金	366,861	358,530	8,331	3 保健事業費	3,304	3,470	△ 166	4 諸支出金	600	600	0	5 予備費	100	100	0	合 計	375,168	365,296	9,872
歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減																																																												
1 保険料	269,902	262,137	7,765																																																												
2 使用料及び手数料	10	10	0																																																												
3 繰入金	104,551	102,278	2,273																																																												
4 繰越金	100	100	0																																																												
5 諸収入	605	771	△ 166																																																												
合 計	375,168	365,296	9,872																																																												
歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減																																																												
1 総務費	4,303	2,596	1,707																																																												
2 後期高齢者医療広域連合納付金	366,861	358,530	8,331																																																												
3 保健事業費	3,304	3,470	△ 166																																																												
4 諸支出金	600	600	0																																																												
5 予備費	100	100	0																																																												
合 計	375,168	365,296	9,872																																																												
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収及び保健事業の実施など適切な運営を図る。 ○歳入においては、保険料率の増額改定等と被保険者数の増により保険料は3.0%の増。 ○歳出においては、自己負担額2割負担開始に伴う保険証更新事務等により総務費65.8%の増。保険料負担金等の増により、後期高齢者医療広域連合納付金は2.3%の増。</p>																																																														
<p>備 考 (特記事項)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3 (見込)</th> <th>R 4 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津市の平均被保険者数</td> <td>4,172人(△1.6%)</td> <td>4,098人(△1.8%)</td> <td>4,151人(+1.3%)</td> </tr> <tr> <td>現年度保険料総額</td> <td>256,349千円</td> <td>261,637千円</td> <td>269,402千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの保険料</td> <td>61,445円</td> <td>63,845円</td> <td>64,900円</td> </tr> <tr> <td>[参考:府全体被保険者数]</td> <td>375,893人[+0.9%]</td> <td>378,453人[+0.7%]</td> <td>393,970人(+4.1%)</td> </tr> <tr> <td>府全体の1人当たり保険料 (R4年度保険料率改定あり)</td> <td colspan="2">85,951円</td> <td>86,421円</td> </tr> </tbody> </table>					R 2	R 3 (見込)	R 4 (予算)	宮津市の平均被保険者数	4,172人(△1.6%)	4,098人(△1.8%)	4,151人(+1.3%)	現年度保険料総額	256,349千円	261,637千円	269,402千円	1人当たりの保険料	61,445円	63,845円	64,900円	[参考:府全体被保険者数]	375,893人[+0.9%]	378,453人[+0.7%]	393,970人(+4.1%)	府全体の1人当たり保険料 (R4年度保険料率改定あり)	85,951円		86,421円																																			
	R 2	R 3 (見込)	R 4 (予算)																																																												
宮津市の平均被保険者数	4,172人(△1.6%)	4,098人(△1.8%)	4,151人(+1.3%)																																																												
現年度保険料総額	256,349千円	261,637千円	269,402千円																																																												
1人当たりの保険料	61,445円	63,845円	64,900円																																																												
[参考:府全体被保険者数]	375,893人[+0.9%]	378,453人[+0.7%]	393,970人(+4.1%)																																																												
府全体の1人当たり保険料 (R4年度保険料率改定あり)	85,951円		86,421円																																																												
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>				<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特3</p>																																																								

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。																									
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>				歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減															
	歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減																										
	歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減																										
	1 保険料			1 総務費																										
	2 使用料及び手数料			2 保険給付費																										
	3 国庫支出金			(項)介護サービス等諸費																										
	4 支払基金交付金			(項)介護予防サービス等諸費																										
	5 府支出金			3 地域支援事業費																										
	6 財産収入			(項)介護予防・生活支援サービス事業費																										
	7 繰入金			(項)一般介護予防事業費																										
	8 繰越金			(項)包括的支援事業・任意事業費																										
	9 諸収入			4 基金積立金																										
			5 公債費																											
			6 諸支出金																											
			7 予備費																											
合 計			合 計																											
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料 保険料軽減(対象:所得区分第1段階から第3段階まで)を継続して実施。 ・保険給付費 居宅介護サービス費、施設介護サービス費等の減により、対前年度比5.5%減。 ・地域支援事業費 包括的支援事業費・任意事業費の増等により、対前年度比1.1%増。 																													
備考 (特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1号被保険者数</th> <th>要介護等認定者数(1号)</th> <th>要介護認定率</th> <th>総合事業対象者</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.12月末</td> <td>7,223人</td> <td>1,877人(要支援648人、要介護1,229人)</td> <td>26.0%</td> <td>15人</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td>R2.12月末</td> <td>7,262人</td> <td>1,911人(要支援685人、要介護1,226人)</td> <td>26.3%</td> <td>17人</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△39人(△0.5%)</td> <td>△34人(△1.8%)</td> <td>△0.3%</td> <td>△2人</td> <td>+0.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【地域支援事業】介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型・通所型サービス、一般介護予防事業等)の実施 地域包括ケアシステム(在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備等)の推進 認知症施策(認知症初期集中支援チームによる支援、認知症カフェの運営等)の推進 成年後見支援センターの運営</p>						第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率	R3.12月末	7,223人	1,877人(要支援648人、要介護1,229人)	26.0%	15人	42.8%	R2.12月末	7,262人	1,911人(要支援685人、要介護1,226人)	26.3%	17人	42.1%	増減	△39人(△0.5%)	△34人(△1.8%)	△0.3%	△2人	+0.7%	 
	第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率																									
R3.12月末	7,223人	1,877人(要支援648人、要介護1,229人)	26.0%	15人	42.8%																									
R2.12月末	7,262人	1,911人(要支援685人、要介護1,226人)	26.3%	17人	42.1%																									
増減	△39人(△0.5%)	△34人(△1.8%)	△0.3%	△2人	+0.7%																									
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係				TEL	45-1619	特4																							

会計名等	介護予防支援事業特別会計				設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。						
予 算	歳 入			令和4年度	令和3年度	増 減	歳 出			令和4年度	令和3年度	増 減
	1 サービス収入	10,073	9,977	96	1 総務費	6,737	5,902	835				
	2 繰越金	3,693	5,923	△ 2,230	2 事業費(介護予防支援事業費)	3,914	4,867	△ 953				
	3 諸収入	1	1	0	3 諸支出金	1,000	1,000	0				
					4 予備費	2,116	4,132	△ 2,016				
合 計	13,767	15,901	△ 2,134		13,767	15,901	△ 2,134					
予算概要 (予算の特徴)	<p>・高齢化率の上昇や高い要介護認定率を背景として、介護予防サービス利用者やそのケアプラン作成数の増加が見込まれるため、介護予防サービス計画費収入は前年微増を見込む。</p>											
備考 (特記事項)	〔介護予防ケアプラン作成数(年間)〕						〔参考:令和3年12月末現在〕					
	区分	R4見込	R3見込	R2実績	R元実績	参考 R3職員体制	対象月	要支援 認定者数	要介護 認定者数	市人口	65歳以上 人口	高齢化率
	南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,258件	2,249件	2,215件	2,107件	10人	R3.12末	648人	1,229人	17,025人	7,293人	42.8%
北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	894件	861件	829件	720件	3人	R2.12末	685人	1,226人	17,397人	7,331人	42.1%	
計	3,152件	3,110件	3,044件	2,827件	13人							
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係						TEL	45-1620		特5		




令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																														
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td>4,428</td> <td>6,452</td> <td>△ 2,024</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料(証明手数料)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>6,949</td> <td>6,002</td> <td>947</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td>9,807</td> <td>8,430</td> <td>1,377</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21,885</td> <td>21,585</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減	1 診療収入	4,428	6,452	△ 2,024	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	3 繰入金	6,949	6,002	947	4 繰越金	700	700	0	5 諸収入(2町分担金)	9,807	8,430	1,377	合 計	21,885	21,585	300	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td>18,846</td> <td>18,546</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td> 管理医師報酬等</td> <td>1,567</td> <td>1,567</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所管理運営事業</td> <td>1,222</td> <td>1,256</td> <td>△ 34</td> </tr> <tr> <td> 出務医師報酬</td> <td>7,019</td> <td>7,019</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所診療事業</td> <td>9,038</td> <td>8,704</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td>2,539</td> <td>2,539</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 市債償還元金</td> <td>2,236</td> <td>2,162</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td> 市債利子</td> <td>302</td> <td>376</td> <td>△ 74</td> </tr> <tr> <td> 一時借入金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21,885</td> <td>21,585</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減	1 休日応急診療所費	18,846	18,546	300	管理医師報酬等	1,567	1,567	0	休日応急診療所管理運営事業	1,222	1,256	△ 34	出務医師報酬	7,019	7,019	0	休日応急診療所診療事業	9,038	8,704	334	2 公債費	2,539	2,539	0	市債償還元金	2,236	2,162	74	市債利子	302	376	△ 74	一時借入金	1	1	0	3 予備費	500	500	0	合 計	21,885	21,585	300
	歳 入	令和4年度	令和3年度	増 減																																																																															
	1 診療収入	4,428	6,452	△ 2,024																																																																															
	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0																																																																															
	3 繰入金	6,949	6,002	947																																																																															
	4 繰越金	700	700	0																																																																															
	5 諸収入(2町分担金)	9,807	8,430	1,377																																																																															
	合 計	21,885	21,585	300																																																																															
	歳 出	令和4年度	令和3年度	増 減																																																																															
	1 休日応急診療所費	18,846	18,546	300																																																																															
管理医師報酬等	1,567	1,567	0																																																																																
休日応急診療所管理運営事業	1,222	1,256	△ 34																																																																																
出務医師報酬	7,019	7,019	0																																																																																
休日応急診療所診療事業	9,038	8,704	334																																																																																
2 公債費	2,539	2,539	0																																																																																
市債償還元金	2,236	2,162	74																																																																																
市債利子	302	376	△ 74																																																																																
一時借入金	1	1	0																																																																																
3 予備費	500	500	0																																																																																
合 計	21,885	21,585	300																																																																																
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科目…内科、小児科 ・診療医師…一般社団法人与謝医師会に委託(16名の医師が輪番出務) ・看護師…6名(2名ずつ出務) ・医事事務…民間事業者に委託 ・診療日…日曜日、祝日、年末年始(年間71日) ※令和3年度71日 <p>※診療収入は、コロナ禍の影響等により、前年度比31.4%の減を見込む。</p>																																																																																		
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年6月から診療開始。休日応急診療所整備に係る起債償還期間は平成37年度(令和7年度)まで。 ・休日応急診療所事業費分担金内訳 宮津市…6,949千円、伊根町…1,313千円、与謝野町…8,494千円 																																																																																		
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係				TEL	45-1624	特6																																																																												



会計名等	財産区特別会計			設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。																												
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">財 産 区</th> <th colspan="3">予 算 規 模</th> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="3">主 な 歳 入</th> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="3">主 な 歳 出</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>												財 産 区	予 算 規 模			項 目	主 な 歳 入			項 目	主 な 歳 出			令和4年度	令和3年度	増 減	令和4年度	令和3年度	増 減	令和4年度	令和3年度	増 減
	財 産 区	予 算 規 模			項 目	主 な 歳 入			項 目	主 な 歳 出																							
		令和4年度	令和3年度	増 減		令和4年度	令和3年度	増 減		令和4年度	令和3年度	増 減																					
	上宮津財産区	9,311	8,199	1,112	財産収入	3,592	2,880	712	造林事業費	5,030	5,037	△ 7																					
	由良財産区	292	492	△ 200	財産収入	91	91	0	総務費	64	64	0																					
	栗田財産区	9,774	306	9,468	諸収入	9,469	1	9,468	総務費	7,854	279	7,575																					
	吉津財産区	7,255	6,507	748	諸収入	4,149	3,401	748	造林事業費	6,515	5,340	1,175																					
	世屋財産区	152	152	0	財産収入	81	81	0	総務費	88	88	0																					
	養老財産区	3,678	438	3,240	財産収入	137	137	0	造林事業費	3,204	0	3,204																					
	日ヶ谷財産区	252	252	0	財産収入	51	51	0	総務費	56	56	0																					
	30,714	16,346	14,368		17,570	6,642	10,928		22,811	10,864	11,947																						
予算概要 (予算の特徴)	<p><上宮津財産区> 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターとの分収造林事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努める。 ・分収造林事業 5,030千円(間伐等)</p> <p><栗田財産区> 財産収入(山土採取に係る収入)の一部を地域振興のため、関係自治会へ交付金として支出する。</p> <p><吉津財産区> 直営林造林事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努める。 ・直営林造林事業 6,515千円(A=3.9ha 間伐、作業道設置)</p> <p><養老財産区> 直営林造林事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努める。 ・直営林造林事業 3,204千円(A=4.5ha 間伐、作業道設置)</p>																																
備 考 (特記事項)																																	
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係							TEL	45-1627	特7																							



令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	水道事業会計			設置目的	安全でおいしい水を供給する					
予 算	収益的収入(税込) A		令和4年度	令和3年度	比較	収益的支出(税込) B		令和4年度	令和3年度	比較
	1 営業収益		552,551	572,230	△ 19,679	1 営業費用		571,934	573,048	△ 1,114
	給水収益		550,032	569,303	△ 19,271	原水及び浄水費		179,924	181,114	△ 1,190
	2 営業外収益		169,336	169,802	△ 466	減価償却費		257,940	264,536	△ 6,596
	他会計補助金		22,004	23,081	△ 1,077	2 営業外費用		52,297	59,264	△ 6,967
	長期前受金戻入		68,037	68,192	△ 155	支払利息		45,524	48,120	△ 2,596
	資本費繰入収益		65,547	65,316	231	消費税等		5,321	9,594	△ 4,273
	その他		13,648	13,113	535	3 特別損失		2	2	0
	3 特別利益		2	2	0	4 予備費		6,000	6,000	0
	合 計		721,889	742,034	△ 20,145	合 計		630,233	638,314	△ 8,081
	資本的収入(税込) C		令和4年度	令和3年度	比較	資本的支出(税込) D		令和4年度	令和3年度	比較
	1 企業債		299,400	329,500	△ 30,100	1 建設改良費		370,141	357,260	12,881
	2 加入負担金		1,170	1,170	0	拡張改良費		173,611	158,592	15,019
	3 出資金		1,101	1,094	7	浄水場整備費		186,000	187,428	△ 1,428
	4 国庫補助金		25,666	6,187	19,479	2 企業債償還金		245,088	245,193	△ 105
5 その他		0	0	0	3 その他・予備費		1,199	1,000	199	
合 計		327,337	337,951	△ 10,614	合 計		616,428	603,453	12,975	
		令和4年度	令和3年度	比較						
収益的収支差引 A-B		91,656	103,720	△ 12,064						
資本的収支差引 C-D		△ 289,091	△ 265,502	△ 23,589						
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入では、給水人口の減少及びコロナ禍の影響等から有収水量は減少を見込み、総額で、前年度比20,145千円の減となる721,889千円とした。 支出では、原水及び浄水費や減価償却費、支払利息などの減を見込み、総額で、前年度比8,081千円の減となる630,233千円とし、収支差引額は91,656千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 如願寺川(市道白柏川向線)を横断している配水管布設替や水道法の改正に伴う水道施設台帳の整備(拡張改良費)、上宮津浄水場大規模改修の継続、IoTを活用した遠隔監視・制御等に向けた実施設計(浄水場整備費)の実施に伴う支出増により、収支差引額は289,091千円の不足</p>									
備考	<p>○如願寺川の配水管布設替…大雨時の如願寺川の河川断面を確保するため、昭和橋に添架している配水管を移設 ○上宮津浄水場大規模改修(R元~R8)…管理棟の改修(耐震化)、各ポンプ及び電気計装設備の更新</p>									
担当部署	建設部 上下水道課 管理係							TEL	45-1635	特8



事業名	IoTを活用した水道施設の整備 (水道事業会計)	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	企業債	その他	一般財源	
背景・経緯	・R元.7 宮津市水道事業ビジョン策定 ⇒最適な水道事業形態の実現 : 遠隔管理による水道施設の運転の合理化 水道施設、管路の適正な資産管理 : 水道台帳の整備、資産管理システムの導入 ・R元.10 水道法の改正により、水道施設台帳の作成・保管義務化 (R4.10~)		77,000	25,666		18,000	33,334		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
				国	生活基盤施設耐震化等交付金		25,666		
				企業債	水道事業債		18,000		
			(参考)前々年度決算額	その他	内部留保資金等		33,334		
目的・目標	「安全でおいしい水をいつまでも」お届けするため、生活基盤施設耐震化等交付金 「水道事業におけるIoT活用推進モデル事業」を活用し、遠隔管理による水道施設の運 転の合理化、水道施設台帳・管網解析システムの整備を行い、水道事業の運営基盤強 化を図る。		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事業概要	■水道施設の遠隔監視、遠隔操作システムの導入に係る実施設計業務委託27,000千円 ○主な業務内容 ・水道施設 (11浄水場、6ポンプ室、9ポンプ所) の遠隔監視、操作等を行うための 実施設計 ※遠隔監視、遠隔操作システム整備期間 : R4~R13 ■水道施設台帳及び管網解析システム整備業務委託 50,000千円 ○主な業務内容 ・水道施設台帳の整備 (電子化) 水道法改正 (台帳整備の義務化) における台帳管理項目に準じた水道施設台帳 の整備 ・管網解析システムの整備 管路における様々な施設状況及び運転管理状況について、水理解析・シミュ レーションの比較検討を行うことができる管網解析システムの構築		施策分野	社会基盤・防災減災					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R元	宮津市水道事業ビジョン				R元~	
	期待される効果等	施設の点検・維持管理業務の効率化及び緊急対応の迅速化等を促進し、安全、安心な水道水の安定供給体制の確保  							
担当部署	建設部 上下水道課 浄水係		施設整備係		45-1637	45-1634		特8-1	

令和4年3月定例会

令和4年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																		
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>258,424</td> <td>274,489</td> <td>△ 16,065</td> </tr> <tr> <td> 下水道使用料</td> <td>258,018</td> <td>273,960</td> <td>△ 15,942</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>590,978</td> <td>604,117</td> <td>△ 13,139</td> </tr> <tr> <td> 他会計補助金</td> <td>391,132</td> <td>405,860</td> <td>△ 14,728</td> </tr> <tr> <td> 国庫補助金</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 長期前受金戻入</td> <td>188,401</td> <td>185,939</td> <td>2,462</td> </tr> <tr> <td> 資本費繰入収益</td> <td>1,440</td> <td>1,538</td> <td>△ 98</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>849,404</td> <td>878,608</td> <td>△ 29,204</td> </tr> </tbody> </table>	収益的収入(税込) A	令和4年度	令和3年度	比較	1 営業収益	258,424	274,489	△ 16,065	下水道使用料	258,018	273,960	△ 15,942	2 営業外収益	590,978	604,117	△ 13,139	他会計補助金	391,132	405,860	△ 14,728	国庫補助金	1,000	1,000	0	長期前受金戻入	188,401	185,939	2,462	資本費繰入収益	1,440	1,538	△ 98	3 特別利益	2	2	0	合 計	849,404	878,608	△ 29,204	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>811,857</td> <td>817,575</td> <td>△ 5,718</td> </tr> <tr> <td> 管渠費・ポンプ場費</td> <td>30,283</td> <td>36,877</td> <td>△ 6,594</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道維持管理費</td> <td>304,925</td> <td>301,832</td> <td>3,093</td> </tr> <tr> <td> 総係費</td> <td>26,823</td> <td>31,031</td> <td>△ 4,208</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>444,558</td> <td>442,787</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>92,510</td> <td>104,835</td> <td>△ 12,325</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>92,440</td> <td>104,765</td> <td>△ 12,325</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失・予備費</td> <td>6,002</td> <td>6,002</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>910,369</td> <td>928,412</td> <td>△ 18,043</td> </tr> </tbody> </table>	収益的支出(税込) B	令和4年度	令和3年度	比較	1 営業費用	811,857	817,575	△ 5,718	管渠費・ポンプ場費	30,283	36,877	△ 6,594	流域下水道維持管理費	304,925	301,832	3,093	総係費	26,823	31,031	△ 4,208	減価償却費	444,558	442,787	1,771	2 営業外費用	92,510	104,835	△ 12,325	支払利息	92,440	104,765	△ 12,325	3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0	合 計	910,369	928,412	△ 18,043			
	収益的収入(税込) A	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																	
	1 営業収益	258,424	274,489	△ 16,065																																																																																	
	下水道使用料	258,018	273,960	△ 15,942																																																																																	
	2 営業外収益	590,978	604,117	△ 13,139																																																																																	
	他会計補助金	391,132	405,860	△ 14,728																																																																																	
	国庫補助金	1,000	1,000	0																																																																																	
	長期前受金戻入	188,401	185,939	2,462																																																																																	
	資本費繰入収益	1,440	1,538	△ 98																																																																																	
	3 特別利益	2	2	0																																																																																	
合 計	849,404	878,608	△ 29,204																																																																																		
収益的支出(税込) B	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																		
1 営業費用	811,857	817,575	△ 5,718																																																																																		
管渠費・ポンプ場費	30,283	36,877	△ 6,594																																																																																		
流域下水道維持管理費	304,925	301,832	3,093																																																																																		
総係費	26,823	31,031	△ 4,208																																																																																		
減価償却費	444,558	442,787	1,771																																																																																		
2 営業外費用	92,510	104,835	△ 12,325																																																																																		
支払利息	92,440	104,765	△ 12,325																																																																																		
3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0																																																																																		
合 計	910,369	928,412	△ 18,043																																																																																		
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>376,300</td> <td>475,500</td> <td>△ 99,200</td> </tr> <tr> <td>2 負担金</td> <td>8,639</td> <td>11,123</td> <td>△ 2,484</td> </tr> <tr> <td>3 国庫補助金</td> <td>0</td> <td>24,900</td> <td>△ 24,900</td> </tr> <tr> <td>4 他会計補助金(基準内)</td> <td>142,353</td> <td>145,913</td> <td>△ 3,560</td> </tr> <tr> <td>5 他会計出資金(基準外)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>527,292</td> <td>657,436</td> <td>△ 130,144</td> </tr> </tbody> </table>	資本的収入(税込) C	令和4年度	令和3年度	比較	1 企業債	376,300	475,500	△ 99,200	2 負担金	8,639	11,123	△ 2,484	3 国庫補助金	0	24,900	△ 24,900	4 他会計補助金(基準内)	142,353	145,913	△ 3,560	5 他会計出資金(基準外)	0	0	0	合 計	527,292	657,436	△ 130,144	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>126,167</td> <td>229,847</td> <td>△ 103,680</td> </tr> <tr> <td> 公共下水道費</td> <td>70,128</td> <td>167,352</td> <td>△ 97,224</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道費</td> <td>56,039</td> <td>62,495</td> <td>△ 6,456</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金</td> <td>700,286</td> <td>704,575</td> <td>△ 4,289</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>827,453</td> <td>935,422</td> <td>△ 107,969</td> </tr> </tbody> </table>	資本的支出(税込) D	令和4年度	令和3年度	比較	1 建設改良費	126,167	229,847	△ 103,680	公共下水道費	70,128	167,352	△ 97,224	流域下水道費	56,039	62,495	△ 6,456	2 企業債償還金	700,286	704,575	△ 4,289	3 予備費	1,000	1,000	0	合 計	827,453	935,422	△ 107,969																											
	資本的収入(税込) C	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																	
	1 企業債	376,300	475,500	△ 99,200																																																																																	
	2 負担金	8,639	11,123	△ 2,484																																																																																	
	3 国庫補助金	0	24,900	△ 24,900																																																																																	
	4 他会計補助金(基準内)	142,353	145,913	△ 3,560																																																																																	
	5 他会計出資金(基準外)	0	0	0																																																																																	
	合 計	527,292	657,436	△ 130,144																																																																																	
	資本的支出(税込) D	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																	
	1 建設改良費	126,167	229,847	△ 103,680																																																																																	
公共下水道費	70,128	167,352	△ 97,224																																																																																		
流域下水道費	56,039	62,495	△ 6,456																																																																																		
2 企業債償還金	700,286	704,575	△ 4,289																																																																																		
3 予備費	1,000	1,000	0																																																																																		
合 計	827,453	935,422	△ 107,969																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>△ 60,965</td> <td>△ 49,804</td> <td>△ 11,161</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 300,161</td> <td>△ 277,986</td> <td>△ 22,175</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度	令和3年度	比較	収益的収支差引 A-B	△ 60,965	△ 49,804	△ 11,161	資本的収支差引 C-D	△ 300,161	△ 277,986	△ 22,175																																																																					
	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																		
収益的収支差引 A-B	△ 60,965	△ 49,804	△ 11,161																																																																																		
資本的収支差引 C-D	△ 300,161	△ 277,986	△ 22,175																																																																																		
		<p>○収益的支出に充当する借入金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本費平準化債(利子分)</td> <td>49,900</td> <td>54,600</td> <td>△ 4,700</td> </tr> <tr> <td>一般会計からの借入金</td> <td>40,000</td> <td>18,000</td> <td>22,000</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度	令和3年度	比較	資本費平準化債(利子分)	49,900	54,600	△ 4,700	一般会計からの借入金	40,000	18,000	22,000																																																																					
	令和4年度	令和3年度	比較																																																																																		
資本費平準化債(利子分)	49,900	54,600	△ 4,700																																																																																		
一般会計からの借入金	40,000	18,000	22,000																																																																																		
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入では、下水道の新規接続による使用料の増収要因はあるものの、コロナ禍による減収、支払利息の減に伴う他会計補助金の減を見込み、総額で前年度比で29,204千円の減となる849,404千円とした。 支出では、流域下水道維持管理費及び減価償却費の増加があるものの、下水道台帳の修正業務(管渠費)や経営戦略見直し(総係費)に係る委託料の減、支払利息の減を見込み、前年度比で18,043千円の減となる910,369千円とし、収支差引額は、60,965千円の不足</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 滝馬川改修に伴い下水道管の移設を実施することとしており、収支差引額は300,161千円の不足</p>																																																																																				
備 考	<p>○使用料収入の減少が見込まれる中、現行の料金体系で下水道事業を運営していくことは困難な状況であることから、宮津市公共下水道使用料金等審議会を設置し、料金改定について諮問予定</p> <p>○キャッシュフロー上、不足が見込まれる額40,000千円については、一般会計からの借入金で対応</p>																																																																																				
担当部署	建設部 上下水道課 管理係	TEL	45-1635	特9																																																																																	

